

平成 21 年度日系研修員
募 集 要 項

平成 20 年 9 月

国際協力機構 (JICA)

横浜国際センター



は じ め に

日系研修員事業は、中南米の日系人への技術協力を通じて国づくりに貢献することを目的としたもので、国際協力機構法で定められている目的のひとつである「国民等の協力活動の促進に必要な業務」の中の「日系研修員事業（日系研修員受入）」として実施しております。本事業は日本の地方自治体及びその所管の地域あるいは日本の NGO、大学、公益法人等の団体並びに民間企業が所有する技術力とそれぞれの持つノウハウ・経験を活かし、中南米からの日系研修員の受入れを実施したいとする提案に対し JICA と共同で実施する事業です。中南米の日系研修員の受入れを通じ、地域が主体となる中南米日系社会への支援を実現するとともに、広範な市民参加を促進することも期待されています。

平成 21 年度も日系研修員受入提案案件の募集を行いました。その結果、関係官庁との協議（法定協議）を了した本募集要項の「平成 21 年度日系研修員募集案件表」の案件について、日系研修員の募集を行うこととなりました。日系研修員事業は、昨年度同様、横浜国際センターの主管で行なわれます。また、平成 21 年度も昨年度と同様日系研修員募集は厳しい予算の中で実施されることから、原則として、長期研修員の研修期間を 10 ヶ月を限度とし、受入れ人数を確保することとしました。受入れ人数は、提案人数（358 名）に対し昨年度と同程度の 120 名を予定していますが、予算状況等により更に変更になる可能性もあります。

在外においては、受入れ対象国の日系団体、帰国研修員同窓会等の協力を得て、JICA 在外事務所の推薦及び在外公館の了承をもって行なわれるものですので、平成 21 年度においてもこれまで同様、現地の日系団体、JICA 在外事務所、関係在外公館のご支援とご協力によって、この制度が効果的に実施されることを願っております。

平成 20 年 9 月
独立行政法人国際協力機構
横浜国際センター
所長 高 井 正 夫

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 平成 21 年度研修コース | 4 |
| 2. 平成 21 年度研修コース表 | 4 |
| 3. 応募について | 5 |
| 4. オリエンテーション | 9 |
| 5. 日本語研修 | 10 |
| 6. 技術研修 | 11 |
| 7. 宿泊施設 | 11 |
| 8. 研修修了証書 | 12 |
| 9. 経費の支給 | 12 |
| 10. 地域との交流 | 13 |
| 11. 研修員の資格取り消し | 13 |
| 12. その他留意事項 | 14 |
| 13. 平成 21 年度日系研修員募集案件表 | 14 |

[参考資料]

1. 個別型日系研修員応募にかかるフローチャート
2. 日系研修員事業の業務フロー
3. 日本語教師研修フローチャート

[付属書類]

応募書類

| | |
|---------|---|
| 様式第 1 号 | 推薦書 |
| 〃 2 号 | 研修申請書 |
| 〃 同英文 | FORM APPLICATION FOR TRAINING |
| 〃 2 号添付 | (個別)研修計画書 TRAINING OBJECTIVES AND PLAN IN JAPAN |
| 〃 2 号添付 | (集団) カントリーレポート COUNTRY REPORT |
| 〃 3 号 | 履歴書 FORM CURRICULUM VITAE |
| 〃 4 号 | 身上書 FORM PERSONAL DATA |
| 〃 5 号 | 健康診断書 |
| 〃 同英文 | FORM CERTIFICATE OF HEALTH |
| 〃 6 号 | 誓約書 |
| 〃 7 号 | 日本語教師研修員推薦書 |

[平成 21 年度日系研修員募集案件]

< 集団コース > C - 1 ~ C - 15

< 個別（長期）コース >

- . 技術者 L - 1 ~ L - 40
- . 研究者 L - 41
- . 教育 L - 42
- . 保健医療 L - 43 ~ L - 66

< 個別（短期）コース >

- . 技術者 S - 1 ~ S - 7
- . 研究者 S - 8
- . 教育 S - 9 ~ S - 10
- . 保健医療 S - 11 ~ S - 18
- . 研究交流 E - 1 ~ E - 2

1. 平成 21 年度研修コース

下記の研修コースを実施しますが、保健医療コースの医師長期研修で臨床修練の資格取得し研修期間を延長する場合を除き、すべて受入日から帰国日が平成 21 年度内に終了することとしています。

(1) 研修の種類

- 1) 集団
6人以上のグループを原則として同一日程で同一の研修目的で実施される研修コース
- 2) 個別長期
研修期間が3ヶ月以上10ヶ月未満のコース(年度内を限度とする)
- 3) 個別短期
研修期間が3ヶ月未満のコース(年度内を限度とする)

(2) 個別の研修コース

- 1) 技術者
教育、保健医療分野を除く技術または知識の習得を目的とした研修コース
- 2) 研究者
大学もしくは企業の研究所に在籍する研究者が、日本の大学等における同分野の研究により研究の進展を図ることを目的とした研修コース
- 3) 教育
教育分野の技術・知識の習得を目的とした研修コース
- 4) 保健医療
保健医療分野の技術の向上を目的とした研修コース
- 5) 研究交流
現地の大学教授等が日本の同分野で研究している教授等と研究の交流を行い、研究の相互発展と本研修を契機とした相互交流を目的としたコース

2. 平成 21 年度研修コース表

平成 21 年度の日系研修員事業(日系研修員受入)の提案による研修コースは、次ページの表のとおりです。

提案人数は、集団が 15 コース合計 94 名、個別長期が 66 コース合計 187 名、個別短期が 20 コース合計 77 名、総計 101 コース 358 名となっています。

平成 21 年度の日系研修員の募集人数は 120 名を予定していますので(21 年度予算の状況により変更することもあります)、提案人数をすべて受入れることは出来ません。従って、集団コースは原則として、応募者の中から最低 6 名の適格者を得ることが出来たコースのみ実施することとし、また、個別研修については、長期・短期共に、各コースへの応募状況等を勘案して各コースの受入人数枠を設定することとしています。

なお、応募者は別添「13.平成21年度日系研修員募集案件表」の研修内容および資格要件ならびに本要項「3.(3)応募資格」を参考に、また、本要項「3.(2)の3)研修計画書」に説明してある手順に従って、応募してください。
また、集団コース応募者についても、研修内容の詳細を知りたい場合は直接提案団体の担当者に問い合わせてください。特に継承日本語教師研修は、年少者を対象とする継承日本教育に携わる教師のための教授法を主とした研修です。応募コースの選択に際しては、参考資料として添付の「3.継承日本語教師研修フローチャート」を参考にしてください。

研修コース表

| 種類 | 研修コース | コース数 | 締切 | 受入決定 | 受入期間(日本到着日～離日) |
|-------|-------------------------------------|------|----------------------|---------------------|---|
| 集団 | ・前期受入コース | 11 | 21年1月14日 | 21年2月13日 | 21年4月上旬～21年9月下旬 |
| | ・後期受入コース | 4 | 21年6月30日 | 21年8月3日 | 21年10月上旬～21年3月下旬 |
| 個別長期 | ・技術者 (工業、農水産業、情報通信、環境、建設、商業・貿易等) | 40 | 21年1月14日 21年6月30日 | 21年2月13日 21年8月3日 | 日本語補完研修を受講しない研修員は21年4月7日以降10ヶ月以内(21年度末まで) 日本語補完研修を受講する研修員は21年4月7日～3ヶ月日本語研修後7ヶ月以内 21年10月以降6ヶ月以内(21年度末まで) |
| | ・研究者 (経済、社会科学等) | 1 | 同上 | 同上 | 同上 |
| | ・教育 (幼稚園教諭、継承日本語教育教師等) | 1 | 同上 | 同上 | 同上 |
| | ・保健医療 (医学、歯学、看護、薬学、栄養学等) | 24 | 同上 | 同上 | 同上 *臨床修練許可を取得した者の受入期間は、研修機関を最長10ヶ月延長できる。(ただし、最長21年度末まで) |
| 個別短期 | ・技術者 | 7 | 21年1月14日 21年6月30日 | 21年2月13日 21年8月3日 | 21年4月～9月受入の場合、21年10月以降" 受入期間は1～3ヶ月以内(21年度末まで) |
| | ・研究者 | 1 | 同上 | 同上 | 同上 |
| | ・教育 | 2 | 同上 | 同上 | 同上 |
| | ・保健医療 | 8 | 同上 | 同上 | 同上 |
| | ・研究交流 (大学、研究所の研究交流に限る) | 2 | 21年1月14日 21年6月30日 | 21年2月13日 21年8月3日 | 21年4月～9月受入の場合、21年10月以降" 受入期間は原則1ヶ月以内 |
| コース合計 | | 101 | | | 受入人数は120名を予定 |

3. 応募について

(1) 応募資格と JICA 在外事務所の推薦及び在外公館の了承

原則として、曾祖父母、祖父母、父母のいずれかが日本人もしくは日系人の子弟で応募対象国に在住する者を応募資格者とし、応募に際しては、JICA 在外事務所長の推薦が得られることが前提ですので、JICA 在外事務所長等からの推薦書が必要です。また、JICA 在外事務所は推薦に際し、在外公館の了承を取付けてください。

(2) 応募書類

1) 所定の書類

この要項に定められた応募書類を揃えてください。

2) 本人による作成

推薦書以外の書類は、必ず応募者本人が記入してください。

(代筆の場合はその旨を書いてください。)

3) 研修計画書

個別コースの応募者は、「研修計画書」を提出してください。

「研修計画書」の作成に当たっては、先ず、提案された研修内容と希望する研修内容が一致していなければならないことから、応募に際し、事前に自分の研修希望内容を提案団体（あるいは研修実施機関）に確認し、その上で、具体的な研修計画及び達成目標を明確に記載してください。これは来日後に研修員と提案団体の研修内容のミスマッチを事前に防止すること及び研修計画書は研修中のモニタリング並びに研修終了後の評価のための基礎資料となることから、選考上、最も重要視することとしています。具体的な手順については「1. 日系研修員応募にかかるフローチャート」を参照してください。

なお、集団研修コースへの応募者は応募時点で研修計画書に代わり居住国、地域における研修分野の現況、問題等をカントリーレポートとして作成提出してください。また、来日後に各コースとも「カントリーレポート発表会」がありますので同レポートを補完する資料、写真、パワーポイント等を持参してください。

4) 健康診断書

全コースの応募資格において心身ともに健康であることとされています。応募時に所定の様式により健康診断書を提出してください。ただし、経済的な理由等で提出が難しい場合は、受入決定通知のあと速やかに受診し、結果を横浜国際セ

ンターまで送付してください。その場合、健康診断結果の内容によっては受入決定が取り消されることもありますのでご注意ください。

5) 臨床修練医師制度

長期個別・保健医療コースの医学の研修員で臨床修練を希望し、厚生労働省の許可が得られた場合は最長 10 ヶ月間の研修期間を延長することを特に認めています。

臨床修練制度とは、外国人医師が日本の厚生大臣の許可を受けて、厚生大臣の指定した病院（臨床修練指定病院）で、厚生大臣の認定を受けた医師（臨床修練指定医）の指導・監督のもと、患者へ直接的な医療行為（治療、手術等）を行なって実地に研修する制度です。

必要とされる資格条件や手続については、次のとおりです。手続きに時間を要するため、希望者は申請に必要な次の書類を持参して来日してください。

ア．医師免許証オリジナルとその翻訳証明書（免許証を発行していない国は、本国厚生省等による証明書と大学の卒業証書写し）

イ．医師として3年以上勤務した証明書（勤務した病院の長が発行する証明書で、複数の病院にわたる時はそれぞれの病院長による証明書が必要）

ウ．帰国後、本国で医療に従事することを証明する書類

エ．語学力の証明書（日本語あるいは英語のどちらか）

ア) 日本語

国際交流基金の日本語能力試験 2 級以上の認定書

イ) 英語（次の内ひとつ）

a. TOEFL 試験で 510 点以上の成績証明書

b. 英語による医師試験に合格した旨の公的機関が発行する証明書

c. 英語による医学教育を行なう医学学校発行の卒業証明書または学位取得証明書

オ．本国での欠格事由に該当しない旨の証明書

次の項目の記載は必須です。

ア) 医業の停止命令処分を受けていない

イ) 禁治産者または準禁産者ではない

ウ) 罰金以上の刑に処せられたことがない

(3) 応募資格

次の資格要件のほか「平成 21 年度日系研修員募集案件表」に記載された資格要件に記載された要件を満たしていることを原則としています。

- 1) JICA 在外事務所長の推薦が得られる。
- 2) 年齢は原則として 21 才から 50 才までとする。
- 3) 原則として高等教育機関卒業以上の学歴を有する。
- 4) 研修を受けるに十分な日本語能力を有する。
- 5) 帰国後研修で得た技術や知識を現場に還元する意志を有する。
- 6) 心身ともに健全である。

(4) 応募期間

JICA 在外事務所（事務所のない国では在外公館）が指定する期間とする。ただし、応募書類は平成 21 年 1 月 14 日までに、また、平成 21 年 10 月以降の研修に応募する者は平成 21 年 6 月 30 日までに横浜国際センター必着となっています。

(5) 応募書類

- 1) 推薦書（JICA 在外事務所が記入）（様式第 1 号）
- 2) 研修申請書（様式第 2 号）
研修計画書（個別研修、日本語教師研修専門コース）（様式第 2 号付属）
カントリーレポート（集団コース参加者）（様式第 2 号付属）
- 3) 履歴書（二重国籍者は国籍欄に両方の国籍を書くこと）（様式第 3 号）
- 4) 身上書（様式第 4 号）
- 5) 健康診断書（既往症は必ず記すこと）（様式第 5 号）
- 6) 誓約書（様式第 6 号）
- 7) 日本語教師研修員推薦書（日本語教師研修コース応募者）（様式第 7 号）
- 8) 最終学校卒業証明書または卒業証書写し（翻訳文を添付）
- 9) 写真 6 枚（縦 4.5 cm × 横 3.5 cm、白黒、カラー何れも可、履歴書に 1 枚貼付）
- 10) パスポートの写し、もしくは I D カードの写し（氏名・生年月日の確認用）

(6) 日本語プレースメントテスト

応募者は全員 JICA 在外事務所等の指示にしたがい、日本語プレースメントテストを受けてください。

このテストは得点数により日本語能力を判定することが出来るように作成してあります。日本での生活ならびに研修が円滑に受けられるかあるいは平成 21 年 4 月受入れの長期研修員を対象とした 3 ヶ月間の「日本語集中研修」を受講する必要があるかどうか判断する材料としています。また、このプレースメントテ

ストの結果に加え、応募書類の履歴書の日本語学習歴も判断の参考としていますので漏れなく記入してください。

従って、必ずしもテストの結果だけで合否が決定づけられるわけではありませんが、研修先が指定する日本語能力を判定する材料にもなります。テストの解答用紙は横浜国際センターに送られて採点も同センターが行ないます。なお、平成21年4月来日以外の個別長期研修員に対しては、「日本語集中研修」は行いません。

(7) 募集人員(定員)

平成21年度提案案件〔101件、人数：353名〕への応募者の中から120名を最終選考人数とします。人員は、予算あるいは応募状況によって変更になることがあります。

なお、集団コースについては、各コースとも6名以上の応募がない場合は原則として実施を取りやめることとしています。

(8) 受入決定通知

JICA 在外事務所長等の推薦に基づいて提案団体及び所管センターで書類選考を行ない、平成21年2月13日までに、平成21年10月以降の研修に応募する応募者には平成21年8月3日までにJICA 在外事務所を通じて選考結果を通知します。

(9) 研修報告

長期研修員は、3ヶ月毎に研修報告書を提出し、研修修了月に研修総括報告書を提出することになっています。短期研修員は研修修了時に研修報告書を提出します。

(10) 研修の辞退

受入決定通知後の研修の辞退は、提案団体に多大の迷惑をかけ日系研修の実施において支障を来たすことにもなるので、極力避けるようお願いいたします。同じ観点から、他団体のスカラシップ等へ重複して申請しないよう留意願います。

(11) 軍人・軍属にある者

本制度の趣旨に照らし、軍人・軍属にある者は研修員として受入れることが出来ませんので、応募を受け付ける際、確認するよう留意願います。

4 . オリエンテーション

(1) 来日前オリエンテーション

JICA 在外事務所で来日前のオリエンテーションを受ける際、小冊子“ KENSHU-IN GUIDEBOOK ”、“ GUIDE TO TRAINING IN JAPAN ”などの資料を渡されるので来日前に読んでおいてください。特に、日本の到着空港でのメッセージ受取り手順、来日時宿舎への移動方法について等の情報は、きちんと理解してください。

(2) 来日後のブリーフィングとオリエンテーション

日系研修員は原則として来日後、横浜国際センターで次のような3日間のブリーフィングおよびオリエンテーションを受けます。

1) ブリーフィング(1日)

ア)JICA 登録諸手続き

イ)ビデオ「JICA 業務」

ウ)諸手当説明

エ)館内案内

オ)ミール・カード配付と説明

カ)メディカル・カード発行と説明

キ)銀行カード支給と説明

2) オリエンテーション講義(2日間)

ア)日本の歴史

イ)日本の社会と日本人

(含日本社会における日系人)

ウ)日本の政治・行政機構

エ)日本の経済

オ)日本の教育

カ)日本人移住史

キ)海外移住資料館見学

5 . 日本語研修

受入決定通知の際、研修開始前に3ヶ月間の日本語研修の受講を指示された研修員に対し、日本語研修を横浜国際センターで実施します。

| 種 類 | 対 象 者 等 |
|------|---|
| 集中講習 | 個別・長期コース研修員のうち、研修計画・目標が明確で、日本語学習歴はあるが、日本語プレースメントテストの結果に反映されていない者を対象に集中的に行う日本語研修(3ヶ月間)。受入決定通知において受講を指示します。 |

6 . 技術研修

研修内容が希望と異なる等の来日後の苦情は対応が困難となりますので、研修員は、かならず応募前に提案団体、あるいは研修実施機関等と連絡を取り、研修内容を確認し、確認した内容で研修計画書を作成してください。また、受入決定通知の時に JICA 在外事務所を通じて伝えられる「研修日程」「研修計画書」により、日程及び研修内容をかならず確認してください。

- 1) 横浜国際センターで受けるブリーフィング・オリエンテーションの後(あるいは 3 ヶ月間の日本語研修後)、研修員は提案団体あるいは研修実施機関の所在地にある所管の JICA 国際センターへ移動します。(所管センター名は「研修計画書」に明記) 移動後、所管センター担当者が研修オリエンテーションおよび生活オリエンテーションを行ないます。
- 2) 研修日程の都合上直接所管センターに行く研修員には、来日後所管センターの研修担当者が研修オリエンテーションおよび生活オリエンテーションを行ないます。

7 . 宿泊施設

宿泊先は原則として JICA 国際センターまたは JICA が指定する施設となります。なお、混乱の元となりますので研修員自身による来日前の宿舎予約は決してしないでください。(研修員は来日後、原則として横浜国際センターに宿泊してブリーフィング・オリエンテーションを受けます)

独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター

住所(〒231-0001)神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

YOKOHAMA INTERNATIONAL CENTER, JICA

3-1, SHINKO 2-CHOME, NAKA-KU, YOKOHAMA, KANAGAWA, JAPAN

TEL 045-663-3251

FAX 045-663-3265

* JICA の国際センターでは、タオル、歯ブラシ、せっけん等の洗面用具は備えていませんので、来日時に持参するなど各自で準備してください。

- 1) 横浜国際センターが満室で宿泊できない場合、宿泊先は JICA が指定する近隣

のホテルになります。

2) 技術研修期間中の宿泊施設

原則的に所管の国際センターになりますが、満室の場合や地理的な理由等で不可能な場合は JICA が指定するホテル等になります。

8. 研修修了証書

予定通り研修を修了した研修員には、JICA 理事長名の研修修了証書 (CERTIFICATE) が与えられます。

9. 経費の支給

JICA は、規程にもとづいて研修員に次の経費を支給します。(以下は平成 20 年度の支給額で、21 年度は金額が変更になることがありますので JICA 在外事務所等で確認してください。)

| 経 費 | 支 給 額 等 |
|--------------------|---|
| 往復航空賃 | JICA が指定する日時と経路の航空券を支給 |
| 滞 在 費 | 横浜国際センターに宿泊の場合 (朝・夕食付き) 3,134 円 / 日 ホテル等に宿泊の場合 (朝・夕食なし) 4,475 円 / 日 |
| 支 度 料 | 受入期間に応じた定額を支給 (10,000 ~ 27,000 円) |
| 資料送付料 | 13,000 円を支給 |
| 療 養 費 等 | JICA は研修員に海外旅行障害保険を付与する。研修員はメディカル・カードにより療養等のサービスが受けられる。(既往症や歯の治療などは対象外) |
| 国際空港使用料 (帰国時のみ) | 実費を支給 |
| 査証更新手数料 | 同 上 |
| 健 康 診 断 料 | 対象となる研修員に規定項目の健康診断を実施する |

(来日前の注意)

1) パスポートの有効期限を確認してください。日本滞在中に有効期限が切れる場合は、来日前に書換えの手続きを行なってください。日本における研修員の出身国の領事館での更新は長時間を要することが多く、滞在期間中に間に合わず問題が生じる危険があります。特に長期研修員で査証が途中で切れる時も注意が必要

です。これまでもパスポート書換えと査証の延長が重なって大変困ったケースがありました。

- 2) 研修員の出発空港は、居住地に一番近い JICA が指定する国際空港となります。
- 3) 外人登録および他の証明書用に写真を応募時とは別に 5 枚持参してください。
(たて 4.5 cm × よこ 3.5 cm)

10. 地域との交流

JICA では、我が国の未来を担う青少年たちが、地球市民として自らの存在や役割を認識出来るようになる為の学習に資する「開発教育」の一環として、彼等が開発途上国のことをよく知り国際協力や異文化理解について考える機会を提供する等、様々な取り組みを行っています。

特に、研修員には多文化共生の社会に向けた理解のための市民との交流の機会を設けておりますので、研修の合間に各地でこれらの機会に参加して地域交流をしていただくこととしております。従って、来日に際しては、自国紹介用写真やビデオ (CD)、子どもの遊びや踊りに関する資料、民族衣装や小楽器 (民族) 等を準備して来日されることをお勧めします。

11. 研修員の資格取り消し

JICA は研修員が次の事項に該当する場合はその資格を取消し、手当の支給を打ち切ることがあります。その場合、(6) 及び (8) を除き、帰国に要する経費は自己負担となります。

- (1) 日本国の法令に違反したり、社会の秩序を乱す行為を行なう
- (2) 提案団体または研修実施機関の諸規則に違反する
- (3) JICA の指示や決定に従わない
- (4) 本人の故意または重大な過失や怠慢等の事由で研修の継続が困難になる
- (5) 本人の都合で研修を中断する
- (6) 傷病等のために研修の継続が困難になる
- (7) 申請書類の記載事項に虚偽が発見される
- (8) その他 JICA がやむを得ないと認める事由が生じる

12. その他の留意事項

- (1) 自国の選挙時不在証明書の発給や旅券の有効期限の更新などには、自国の身分証明書が必要なので、該当者は持参のこと
- (2) 家族の同居は認めない
- (3) オートバイや自動車の運転は認めない
- (4) 政治活動や営利目的の活動を行ってはならない
- (5) 宿泊先は JICA 指定の宿泊施設である
- (6) 研修修了後、JICA が指定する経路ですみやかに帰国する

13. 平成 21 年度日系研修募集案件表

平成21年度日系研修員事業提案案件表

<集団コース>

| 案件No. | コース種別 | 提案内容(日系研修員受入) | | | | 提案団体(研修実施機関等) | 連絡先 | 所管センター | |
|-------|-------|---|-----|------------------------|--|--|---------------------------------------|--|--------|
| | | 人数 | 期間 | 研修目的内容 | 資格要件 | | | | |
| C-1 | 集団 | 果樹栽培技術(ナシ) Fruit Production Technology(Pear) | 6名 | H21年8月中旬～ H21年9月中旬 | ニホンナシの栽培技術を研修し、諸外国、特に比較的温暖な冬季気候地帯での栽培の可能性を探る。(剪定技術、栽培方法、「芽枯」対策等) | 1.ニホンナシ生産者 2.講義が理解できる日本語能力を有する者 | 国立大学法人筑波大学 大学院生命環境科学研究科 (果樹研究室) | 学术交流係 佐藤 学 : 029-853-2067 Fax:029-853-2059 Mail:msatou@sec.tsukuba.ac.jp | JICA筑波 |
| C-2 | 集団 | 日本式生産方式と品質管理 Japanese-Style Production Management and Quality Control | 6名 | H21年9月中旬～ H21年12月中旬 | 工場企業(特に中小企業)の生産管理・品質管理を担当する若手技術者が、日本的生産管理・品質管理の基礎知識を習得する。(座学及び企業現場での実践的研修) | 1.理工系大学卒業又は同等以上学歴を有する30歳代までの者 2.工業技術の基礎知識を有し、それを理解する日本語能力を有する者 | ラテンアメリカ技術交流センター | 河原 寛 : 03-3495-5210 Fax:03-3495-5219 Mail:latec@latec.jp | JICA東京 |
| C-3 | 集団 | 継承日本語教育教師研修(基礎 コース) Japanese Heritage Language Teachers (Basic Course) | 6名 | H21年7月上旬～ H21年10月中旬 | 継承日本語教育を主目的とした日本語学校の新人日本語教師を養成する。(言語教育の基礎理論、日本文化紹介を行うための基礎的指導技術、日本語教授法の基礎、日本語教室での実習、関連施設見学等)受入決定通知後7月までは通信教育、7月から1ヶ月間ブラジル日本語センターにて事前研修となる。 | 1.日系子弟のための日本語学校に勤務する日本語教師(49歳以下) 2.経験年数3年未満または授業時間300時間以下 3.日本語能力初級後半以上 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1781 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-4 | 集団 | 継承日本語教育教師研修(基礎 コース) Japanese Heritage Language Teachers (Basic Course) | 6名 | H21年12月上旬～ H22年2月下旬 | 継承日本語教育を主目的とした日本語学校の現職中堅日本語教師のスキルアップ。(言語教育理論、日本文化紹介を行うための指導技術、日本語教授法初級後半、日本語教室での実習、関連施設見学等) | 1.日系子弟のための日本語学校に勤務する日本語教師 2.経験年数5年以上または授業時間500時間以上(49歳以下) 3.日本語能力中級以上 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1782 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-5 | 集団 | 継承日本語教育教師研修(速成コース) Japanese Heritage Language Teachers (Rapid Completion Course) | 6名 | H21年6月上旬～ H21年8月下旬 | 継承日本語教育を主目的とした日本語学校に勤務する、日本語力はあるが教師経験の浅い日本語教師が指導能力を習得する。(言語教育の理論、日本文化紹介を行うための指導技術、日本語教授法 初級全般、日本語教室での実習、関連施設見学等) | 1.日系子弟のための日本語学校に勤務する日本語教師 2.経験年数5年未満または授業時間500時間未満(55歳以下) 3.日本語能力上級以上 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1783 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-6 | 集団 | 継承日本語教育教師研修(専門コース) Japanese Heritage Language Teachers (Specialist Course) | 6名 | H21年7月上旬～ H21年8月下旬 | 継承日本語教育を主目的とした日本語学校で指導的役割を果たしている日本語教師が主に視聴覚教材研究の専門知識を習得する。(マルチメディア教材の活用法研究、聴解教材研究、中南米継承日本語教育における視聴覚教材の活用法等) | 1.日系子弟のための日本語学校に勤務する教師(60歳以下) 2.経験年数7年以上または授業時間700時以上 3.日本語能力上級以上 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1784 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-7 | 集団 | 継承日本語教育教師研修(講師養成コース) Japanese Heritage Language Teachers (Trainers Course) | 6名 | H21年6月上旬～ H21年7月下旬 | 現地日本語教師養成講座講師又は各地域日本語教師リーダーが継承日本語教育を主目的とする日本語学校の教師を育成するため、講師としての指導技術と知識を習得する。(継承日本語教育の概念整理と実践法、後進教師への教授法指導等) | 1.現地日本語教師養成に携わる講師又はその候補者 2.日本語能力上級以上 3.来日時年齢60歳以下 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1786 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-8 | 集団 | 日系農協中堅実務者研修 Training Program for Middle Manager of Nikkei Agricultural Cooperative | 6名 | H21年7月上旬～ H21年8月上旬 | 財務管理、プロダクトマネジメント、知識普及をテーマに講義・実習・事例研究等を行い、日本の総合農協におけるこれら事業実務及び実施状況に関し、中堅実務者に必要な経営管理運営能力を習得する。 | 1.日系農協職員で5年以上の実務経験を有する者 2.現在日系農協の主任クラスあるいは将来参事となりうる者 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1787 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-9 | 集団 | 幼児教育 Early Childhood Education | 6名 | H21年12月中旬～ H22年2月下旬 | 日本の文化を継承しながら幼児教育に携わる人材が日系社会において、幼児教育者として必要な理論と実践的な技術を習得する。また、一人の人間としての豊かな心と感性を養うことを目的とする。 | 1.幼稚園教諭の資格または同等な能力を有し、現在日系社会における幼児教育に従事している者 2.日本語能力初級後半以上 3.来日時年齢50歳未満 | (財)海外日系人協会 継承日本語教育センター | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1788 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-10 | 集団 | 農村婦人リーダー研修 Women Leaders of Nikkei Agricultural Cooperative, Nikkei Cultural Association in Rural Area | 6名 | H22年1月中旬～ H22年2月中旬 | 農産物加工・一村一品運動を通じた女性の社会参画および地域活性化への取り組み、高齢者福祉と婦人の役割、栄養改善指導等による地域社会貢献活動、農村社会の質的向上に向けた文化活動等を習得する。 | 1.農村部の日系団体婦人部で5年以上活動経験を有する幹部あるいは将来幹部と見込まれる者 2.年齢30歳以上60歳まで | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1789 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| C-11 | 集団 | 日本・沖縄文化伝承のためのマルチメディア技術 Multimedia Technologies for Traditions of Japan-Okinawa Culture and History | 6名 | H22年1月上旬～ H22年3月下旬 | 教育活動、団体普及活動、日本・沖縄文化及び歴史の伝承活動等の手段を向上するためのマルチメディア製作技術及び教育教材開発手法を習得する。(教育工学諸理論に基づいて、「企画・設計」、「制作・実施」を経て「評価・改善」というアプローチを実践する) | 1.教育関係施設等で各種媒体を利用して教育する者 2.日系団体等で普及・広報活動に従事する40歳以下の者(日本・沖縄文化の伝承を含む) 3.PCの基本操作ができる40歳以下の者 | (財)日本国際協力センター | 倉持 聡 : 098-874-0056 Fax:098-874-0049 Mail:kuramochi.satoshi@jice.org | JICA沖縄 |
| C-12 | 集団 | バイオサイエンス分野の革新的PIの育成 Fostering Programe to Develop Innovative PI in Research Area of Bioscience | 10名 | H21年4月上旬～ H22年1月下旬 | 革新的PIを育成するために大学や研究機関からのPIを講師として、講義、講演、議論を行い、バイオサイエンス分野の基礎知識と技術の習得、最先端研究に関わる知識と技術の習得、特許取得に関するトレーニングを行う。 | 1.PIを目指している大学又は研究機関の若手研究者 2.日本語能力初級後半以上又は英語能力についても同程度 | 国立大学法人岡山大学大学院 自然科学研究科 | 学務部国際課 山本 優子 : 086-251-7037 Fax:086-254-6104 Mail:yamamoto-y@adm.okayama-u.ac.jp | JICA中国 |

| | | | | | | | | | |
|------|----|--|----|-----------------------|---|---|------------------------|--|--------|
| C-13 | 集団 | 日系人のための歯科保健指導者養成プログラム Programe for Training of Experts in Dental Health among Japanese Descents | 6名 | H21年4月下旬～ H22年2月下旬 | 地域医療、歯科学教育、歯科医療行為、歯科学研究の各分野について学ぶとともに、広島大学歯学部先端研究・臨床についての理解を深め、歯科医療保健分野の指導者となる人材を養成する。 | 1. 日系歯科医療従事者 2. 日本語能力初級後半以上 | 広島大学歯学部 | 高田 隆 : 082-257-5045 Fax:082-257-5615 Mail:bimes-si@office.hiroshima-u.ac.jp | JICA中国 |
| C-14 | 集団 | 日系人高齢者の福祉介護 Nursing care for the Japanese elderly descendants | 6名 | H21年4月下旬～ H22年2月下旬 | 看護学・社会福祉学・健康栄養学の三次元を軸にプログラムを設定し、日系人高齢者の健康に関わる諸問題に対して総合的に対応できる人材を養成する。各国の地域事情を考慮した総合的な研修も行き、実践力の向上も図る。 | 1. 看護師、栄養士、社会福祉士 介護福祉士のいずれかの資格有する者 | 高知女子大学 | 佐藤 厚 : 088-873-2156 Fax:088-873-3934 Mail:atsushi@cc.kochi-wu.ac.jp | JICA四国 |
| C-15 | 集団 | 高齢者福祉におけるデイケアサービス（デイケアと介護予防） Training Course on Day-Care and Nursing Care | 6名 | H21年6月上旬～ H21年8月下旬 | 高齢者の尊厳を支え、それぞれの地域で健康な日常生活の自立を維持・支援するためのアイデアと介護予防の実践について習得する。（高齢者の心身の変化に対する理解、認知症予防、回想法の意義等） | 1. 福祉業務経験者であること 2. 日本語能力初級後半以上 3. 55歳未満の者 | 石川県立看護大学 羽咋市社会福祉協議会 | 天津 榮子 : 076-281-8308 Fax:076-281-8337 Mail:a1127e08@ishikawa-nu.ac.jp | JICA北陸 |

別(長期)コース>

| 案件No. | コース種別 | 提案内容(日系研修員受入) | | | | 提案団体(研修実施機関等) | 連絡先 | 所管センター | |
|-------|-------|--|----|-------------------|---|--|-----------------------------|---|--------|
| | | 人数 | 期間 | 研修目的内容 | 資格要件 | | | | |
| L-1 | 個別・長期 | 建築の設計(意匠・設備・構造)監理 Building Design (Architectural Design・Mechanical & Electrical Engineering・Structural Engineering) and Construction Administration | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 以下の研修内容で研修員の能力、希望内容を勘案して研修実施予定表を作成する。 (意匠・設備・構造の設計、都市計画、積算、監理、CAD/CG実習、模型制作、現場見学公募型住宅設計コンペへの参加) | 1. 大学(建築設計専攻)を卒業 2. 建築設計に携わっている者 3. 日本語能力初級後半以上 | (株)北海道日建設計 | 串田 隆夫 : 011-241-9537 Fax: 011-261-7673 Mail: kushidat_hns@nikken.co.jp | JICA札幌 |
| L-2 | 個別・長期 | コンピューター・グラフィックス(3DCG)クリエイター養成 Computer Graphics (3DCG) Creator Training | 3名 | H21年4月～10ヶ月 | グローバルな視野で創作ができるコンピュータグラフィック(CG)クリエイターを育成する。3DCG制作ソフトのMAYAの基本的な操作を学習し、クリエイターとして必要な一定レベルのアイデアや表現力を習得する。 | 1. コンピュータグラフィックに興味のある者 2. 日本語能力中級以上 | 学校法人 吉田学園 情報ビジネス専門学校 | 吉田 祐樹 : 011-272-3070 Fax: 011-272-3015 Mail: yuuki@yoshida-g.ac.jp | JICA札幌 |
| L-3 | 個別・長期 | 被服製作に関する技術(初級) Garments Construction Technique (beginners course) | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 服飾(洋裁)の一般知識、技能、感性を習得する。被服製作の基となる文化原型から縫製技術まで学び、テキスタイル、手芸等被服全般の技法も習得する。(服飾造形、服飾概論、素材論、服飾デザイン、服飾史、CADコンピュータ等) | 1. 服飾に関する知識、技能が初心者でも良い。 2. 日本語能力初級後半程度 | 学校法人 谷内学園 北海道文化服装専門学校 | 岡部 達哉 : 011-811-0101 Fax: 011-811-0105 Mail: hokubun@cocoa.ocn.ne.jp | JICA札幌 |
| L-4 | 個別・長期 | 被服製作に関する技術(上級) Garments Construction Technique (advanced course) | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 服飾実務の経験者を中心に、高度な実力を身につけたファッション界のリーダー養成する。高度な服飾造形の技術を身につける。(服飾造形、服飾概論、素材論、服飾デザイン、服飾史、CADコンピュータ等) | 1. 服飾に関する知識、技能の経験者であること。 2. 日本語能力初級後半程度 | 学校法人 谷内学園 北海道文化服装専門学校 | 岡部 達哉 : 011-811-0101 Fax: 011-811-0105 Mail: hokubun@cocoa.ocn.ne.jp | JICA札幌 |
| L-5 | 個別・長期 | 酪農・畜産における飼養管理 Feeding Management in Dairy, Swine Production and Forage Utilization | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 乳牛・肉牛及び豚の飼養管理の基礎と実際について習得する。次に専門科目の履修も可能である。酪農概論、家畜栄養学、反芻家畜学、養豚学、肉牛肥育学、草地等。 | 1. 乳牛・肉牛・豚の飼養管理や生物生産科学に関心・興味のある者 2. 日本語能力中級以上 | 酪農学園大学 酪農学部酪農学科 | 安宅 一夫 : 011-388-4718 Fax: 011-387-5848 Mail: ataku@rakuno.ac.jp | JICA札幌 |
| L-6 | 個別・長期 | 農業協同組合職員養成 Agricultural Cooperative Staff Education Course | 2名 | H21年5月上旬～H22年3月上旬 | 農協法、協同組合論を学び、農協の営農・販売・購買・共済・信用事業に係る知識を習得する。パソコン、農協簿記、文書実務、農業実習も習得する。毒物劇物(農業容目)資格、危険物乙4類資格、FP3級資格、フォークリフト技能資格等を取得する。 | 1. 農業及び農協に関心を持つ者 2. 日本語能力中級以上 | (財)北海道農業協同組合学校 | 常井 誠 : 011-386-4331 Fax: 011-387-1715 Mail: m_tsunai@ja-college.jp | JICA札幌 |
| L-7 | 個別・長期 | 伴侶動物の運動器疾患の診断と治療 Diagnosis and therapy of locomotors system in companion animals | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 伴侶動物(犬、猫等)の運動器疾患を画像診断法を主体に明らかにし、診断結果をもとに実施される一連の治療過程を経験し、さらに周術期の管理、術後管理方法を習得する。 | 1. 伴侶動物の獣医療、特に運動器疾患の外科治療に関心のある獣医師 2. 日本語能力中級以上 | 酪農学園大学 獣医学部獣医学科 | 泉澤 康晴 : 011-388-4767 Fax: 011-388-4767 Mail: izumisaw@rakuno.ac.jp | JICA札幌 |
| L-8 | 個別・長期 | 栄養管理学 Nutrition Management | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 日本の最新の栄養学、栄養管理について多面的に研修し、科学的な見地からの疾病と食を捉える研究を行う。(栄養学、健康と栄養、食品科学等) | 1. 栄養、食品に関する基礎知識習得意欲と関心を持っている者 2. 日本語能力中級以上 | 酪農学園大学 酪農学部食品科学科 | 石井 智美 : 011-388-4887 Fax: 011-388-4887 Mail: ishii@rakuno.ac.jp | JICA札幌 |
| L-9 | 個別・長期 | 作物生産性の向上をめざした環境保全的な土壌肥沃度管理法 Management of Soil Fertility for Increasing Crop productivity with less environmental impacts | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 耕地の土壌肥沃度を診断し、その土壌に最適な作物を栽培した上で、その作物の生産性を向上させる為の養分管理と農業が環境や地球環境変動とどのような関係にあるかなどの学理と実技を習得する。 | 1. 作物生産に関心のある者 2. 日本語能力中級以上 (又は英語で意思疎通ができる者) | 酪農学園大学 酪農学部酪農学科 | 松中 照夫 : 011-388-4814 Fax: 011-387-5848 Mail: matsunak@rakuno.ac.jp | JICA札幌 |
| L-10 | 個別・長期 | 野菜生産・販売及び農業機械の基礎的な整備技術 Basic knowledge for Vegetable production and sales, for maintenance of agricultural machinery | 2名 | H21年4月上旬～8ヶ月 | 農場での実習作業を通じ、第1期では野菜生産販売実習、第2期では農業機械取り扱いと整備、第3期では実習のまとめレポート作成により北海道での野菜生産・販売と農業機械の取り扱いの基礎を習得する。 | 1. 農業経営に携わっている者か興味のある者 2. 日本語能力初級後半以上 | 学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校 | 高林 透 : 011-851-8236 Fax: 011-851-8269 Mail: hakkou@hakkougakuen.ac.jp | JICA札幌 |
| L-11 | 個別・長期 | IT技術者養成「プロジェクト管理」 IT Engineers Training「Project Management」 | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | WebサービスやSOAに準拠した複数自治体共同利用型の自治体向け各種システムの構築・運用業務に携わることを通じ、SOAといった最新のシステム開発ノウハウを身につけるとともに、大規模システム開発のプロジェクトマネジメント能力を身につける。 | 1. WWW関連技術及びプログラム言語(Java等)を習得している者 2. 日本語能力中級以上 | 株式会社HARP | 埴 真治 : 011-221-5800 Fax: 011-212-7082 Mail: shinji.hanawa@e-harp.jp | JICA札幌 |
| L-12 | 個別・長期 | JAVAプログラミングとシステムデザイン JAVA Programing and System Design | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | Javaプログラミング、システム設計、ネットワーク、RDB基礎、サーバー構築基礎について、各研修員の希望等を考慮して研修計画を作成する。 | 1. 大学(工学部)卒業又は卒業後情報処理関連に従事している者 2. 初歩的なプログラミングができる者 3. 日本語能力中級以上 | 学校法人 桑園学園 札幌情報未来専門学校 | 大花 学 : 011-231-7085 Fax: 011-281-0256 Mail: m_hana@sapporo-mirai.ac.jp | JICA札幌 |
| L-13 | 個別・長期 | CGデザイン Training for CG design | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | CGによるアニメーション制作技術を学び、クリエイターとして必要な総合力を身につける。デザインなどの基礎的知識と能力を身につけながら3Dアニメーションソフトを使ったCG映像からFLASHを使ったデザイン系アニメーションまで幅広いアニメーション表現について学ぶ。 | 1. コンピュータの基礎能力を有し絵を描くことが好きな者 2. 日本語能力中級以上 | 学校法人 桑園学園 札幌情報未来専門学校 | 大花 学 : 011-231-7085 Fax: 011-281-0256 Mail: m_hana@sapporo-mirai.ac.jp | JICA札幌 |
| L-14 | 個別・長期 | 情報セキュリティ技術 Technology for information security | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | セキュリティーネットワーク構築、セキュリティー応用、RDB実践、CCNA について、各研修員の希望等を考慮して研修計画を作成する。 | 1. 大学(工学部)卒業又は卒業後情報処理関連に従事している者 2. 何がしかの言語で初歩的なプログラミングができる者 3. 日本語能力中級以上 | 学校法人 桑園学園 札幌情報未来専門学校 | 大花 学 : 011-231-7085 Fax: 011-281-0256 Mail: m_hana@sapporo-mirai.ac.jp | JICA札幌 |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|---|----|-------------|---|---|----------------------------|---|--------|
| L-15 | 個別・長期 | Webプログラミング 初級レベル Web Programing, Primary Level | 2名 | H21年4月～6ヶ月 | スクリプト演習、ホームページ入門、Webプログラミングについて、各研修員の希望等を考慮して研修計画を作成する。 | 1.大学(工学部)卒業又は卒業後情報処理関連に従事している者 2.初歩的なプログラミングができる者 3.日本語能力中級以上 | 学校法人 桑園学園 札幌情報未来専門学校 | 大花 学 :011-231-7085 Fax:011-281-0256 Mail:m_hana@sapporo-mirai.ac.jp | JICA札幌 |
| L-16 | 個別・長期 | Webプログラミング 中級レベル Web Programing, Intermediate Level | 2名 | H21年4月～6ヶ月 | オーサリング、Webプログラミング及び、Access基礎、VBプログラミングについて、各研修員の希望等を考慮して研修計画を作成する。 | 1.大学(工学部)卒業又は卒業後情報処理関連に従事している者 2.JAVAプログラミングができる者 3.日本語能力中級以上 | 学校法人 桑園学園 札幌情報未来専門学校 | 大花 学 :011-231-7085 Fax:011-281-0257 Mail:m_hana@sapporo-mirai.ac.jp | JICA札幌 |
| L-17 | 個別・長期 | 土木工学(測量含む) Civil Engineering(including Survey) | 5名 | H21年4月～10ヶ月 | 道路など各種土木構造物の設計から測量技術、現場を管理する施工管理技術までを現場実習を重視してトータルに学ぶ。「建設CALIS/EC」、「ISO」、「環境」、や最先端の「GPS」、「GIS」など幅広い知識と技術を効果的に身につける。 | 1.土木技術者及び測量技術者を 目指す者 2.日本語能力初級後半以上 | 札幌理工学院 | 小場 清継 :011-386-4151 Fax:011-387-0313 Mail:oba@srg.ac.jp | JICA札幌 |
| L-18 | 個別・長期 | マイクロコンピュータ利用技術の習得とC言語によるWindowsソフトウェアの開発 Acquisition of Microcomputer Technology and Windows Software Development by C Language | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | マイクロコンピュータを使った計測、制御技術の取得とC言語によるWindowsソフトウェアの開発技術を習得する。 | 1.工業系学校教員または講師 2.基本的なコンピュータ操作が可能なる者 3.日本語能力初級後半以上 | 北海道教育大学 札幌校 | 芳根 和子 :011-778-0266 Fax:011-778-0675 Mail:yoshine@sap.hokkyoda.ac.jp | JICA札幌 |
| L-19 | 個別・長期 | DNAバイオマイクロアレイおよびバイオインフォマティクス技術者 Training for DNA microarray analysis and bioinformatics | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | ゲノムのSNPの検出や網羅的遺伝子発現解析手法であるDNAマイクロアレイ法を習得し、さらにバイオインフォマティクスデータベースの活用法を身につけて、創薬や品種改良、機能性食品開発など生命科学の応用分野の研究開発に参画できる人材を育成する。 | 1.生命化学系大学卒の者 2.実験・研究に必要な日本語又は英語能力を有する者 | 国立大学法人 帯広畜産大学 | 大西 正夫 得字 圭彦 :0155-49-5550 Fax:0155-49-5577 Mail:tokuji@obihiro.ac.jp | JICA帯広 |
| L-20 | 個別・長期 | 北海道における高度食品加工技術 Advanced food processing training course in Hokkaido | 4名 | H21年6月～5ヶ月 | 高度食品加工に関し研修員は以下の中から6項目を選択し、座学と実習を組み合わせる。 農協の取り組み 大豆 小麦 食肉 乳製品 珍味・フルーツ フリーズドライ加工 食品加工機械 環境対策 研修報告の作成(必須) 個別アレンジ研修 | 1.大卒で、食品又は食品加工、農業、畜産の基礎知識を有する者 2.実習に際しての日本語能力が十分な者 | 国立大学法人 帯広畜産大学 | 関川 三男 :0155-49-5771 Fax:0155-49-5775 Mail:sekikawa@obihiro.ac.jp | JICA帯広 |
| L-21 | 個別・長期 | 環境に配慮した畑作・酪農生産技術 Enviroment-friendly technologies for crops and livestock production | 4名 | H21年4月～10ヶ月 | 十勝の畑作、酪農・畜産の生産現場に密着した研修を通じて、乳牛・肉牛の飼養管理技術、搾乳、畑作物の栽培管理、収穫調整、地力、生産力の向上、労働配分の合理化、生産資材の共同購入や生産物の共同販売等の理論と実際の業務を習得する。 | 1.実務経験3年以上の農業後継者 又は農協職員で、35歳以下の者 2.日本語能力中級以上 | 十勝農業協同組合連合会 | 西部 潤 :0155-24-4091 Fax:0155-26-1639 Mail:j_nishibu@nkrtwosv.nokyoren.or.jp | JICA帯広 |
| L-22 | 個別・長期 | 農業技術(野菜・稲作) Training of agricultural technique (Vegetable,Rice) | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 安全で高品質な野菜作・稲作技術を理論的、実践的に学ぶ。有機栽培などの実際を学び、講義等で学問的、理論的な整理を行い、体系的に環境安全型野菜作・稲作を学ぶ。 | 1.農業者もしくは農業を志す者 2.日本語による指導が可能なる者 | (財)農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校 | 山本 昌弘 :029-259-2811 Fax:029-259-6965 Mail:ma-yamamoto@mail.koibuchi.ac.jp | JICA筑波 |
| L-23 | 個別・長期 | 環境保全型高品質果実生産技術研修 Training of Producing High Quality and Pro-environmental Fruit | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 消費者ニーズの高い高品質な果実生産技術とともに、環境保全的な果実栽培技術を圃場での実習、講義等で学問的・理論的な整理を行い、体系的に理解を深める。 | 1.農業者もしくは農業を志す者 2.日本語による指導が可能なる者 | (財)農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校 | 山本 昌弘 :029-259-2811 Fax:029-259-6965 Mail:ma-yamamoto@mail.koibuchi.ac.jp | JICA筑波 |
| L-24 | 個別・長期 | 先端工業技術:自動車・自動車部品コース Most Advanced Industrial Technology:Automobile and Automobile Parts Course | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 一般研修として日本の最先端工業技術・研究開発について網羅的・総合的な知識の取得及び専門技術研究を行う。実地研修として自動車・同部品工業分野において応募者が希望する専門工業技術研修項目を習得するのに最適な企業で実地研修を行う。 | 1.理工系大学卒業以上の者 2.専門技術分野について知識とそれを理解する日本語能力(受け入れ先により英語も可)を有する者 | ラテンアメリカ技術交流センター | 河原 寛 :03-3495-5210 Fax:03-3495-5219 Mail:latec@latec.jp | JICA東京 |
| L-25 | 個別・長期 | 先端工業技術:電気・電子技術コース:情報通信技術を含む Most Advanced Industrial Technology:Electric and Electronic Technology Course including information and Telecommunication Technology | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 一般研修として日本の最先端工業技術・研究開発について網羅的・総合的な知識の取得及び専門技術研究を行う。実地研修として電気・電子関連の分野において応募者が希望する専門工業技術研修項目を習得するのに最適な企業で実地研修を行う。 | 1.理工系大学卒業以上の者 2.専門技術分野について知識とそれを理解する日本語能力(受け入れ先により英語も可)を有する者 | ラテンアメリカ技術交流センター | 河原 寛 :03-3495-5210 Fax:03-3495-5219 Mail:latec@latec.jp | JICA東京 |
| L-26 | 個別・長期 | 先端工業技術:化学、建築などその他の工業技術コース Most Advanced Industrial Technology:Other Industrial Technology course such as Chemical(petrochemical,plastics, cosmetics,etc),Construction,etc. | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 一般研修として日本の最先端工業技術・研究開発について網羅的・総合的な知識の取得及び専門技術研究を行う。実地研修として化学、建築等の専門分野において応募者が希望する専門技術研修項目を習得するのに最適な企業で実地研修を行う。 | 1.理工系大学卒業以上の者 2.専門技術分野について高度な知識とそれを理解する日本語能力(受け入れ先により英語も可)を有する者 | ラテンアメリカ技術交流センター | 河原 寛 :03-3495-5210 Fax:03-3495-5219 Mail:latec@latec.jp | JICA東京 |
| L-27 | 個別・長期 | 環境教育指導者及び施設運営者養成研修 Training for Environmental Education leaders and Facility Managers | 2名 | H21年4月～9ヶ月 | 環境教育を地域社会において事業として実践していく人材の養成を目的に、環境教育に携わる者として必要な知識、技術、考え方と事業運営に必要なプロセスや施設運営のノウハウを習得する。(日常業務の補佐、主催及び受託事業のOJT、講義、実習、視察等) | 1.年齢30歳未満の者 2.日本語能力初級後半以上 | 財団法人キープ協会 | 増田 直広 :0551-48-3795 Fax:0551-21-3228 Mail:n.masuda@keep.or.jp | JICA東京 |
| L-28 | 個別・長期 | 服装造形・服装解剖学・ファッションデザイン画・ファッションマーケティングなど Dressmaking・Clothing kinesiology・Fashion Design Drawing・Fashion Marketing etc., | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 文化式原型を利用した婦人服の製作技術とファッションビジネス理論を習得する。応募者の知識・技術力により、「服飾専攻科」「服飾研究科」「服飾科」に振り分ける。(服装造形、服装解剖学、ファッションデザイン画、マーケティング等) | 1.服飾研究科は服飾関連大学を卒業した者で22歳以上 2.日本語能力中級以上 | (学)文化学園文化服装学院 | 古澤 直子 :03-3299-2204 Fax:03-3370-9545 Mail:furusawa@bunka.ac.jp | JICA東京 |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|--|----|---------------|--|---|-----------------------|--|--------|
| L-29 | 個別・長期 | 在住日系人に対するカウンセリング業務 Training of consultation for japanese descents | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 外国人学校、大学等でのフィールドワークにより在住日系人の取り巻く環境を理解し、日本の児童相談・教育相談システムや制度の研修により相談技術の向上並びに情報処理やデータ解析、統計処理等の技術、業務全体のマネージメント等を習得する。 | 1. 大学で心理学またはカウンセリングを専攻し、経験3年以上で50歳までの者 2. 日本語能力中級以上の者 3. ポルトガル語ができる者が望ましい | 群馬県 | 下田 歩美 : 027-226-3396 Fax: 027-223-1692 Mail: shimoda-ayumi@pref.gunma.jp | JICA東京 |
| L-30 | 個別・長期 | 在住日系人に対する心理学的支援 Training of psychological support for Living japanese descents | 1名 | H21年4月～6ヶ月 | 在住日系人に対する心理学的なアプローチによる支援のあり方について研修する。外国人学校、大学等でのフィールドワークによる事例、課題の研究、また、解決に向けての県各機関等の指導により心理学・精神分析技術の向上を図る。 | 1. 大学で心理学またはカウンセリングを専攻し、経験2年以上で50歳までの者 2. 日本語能力中級以上の者 | 群馬県 | 下田 歩美 : 027-226-3396 Fax: 027-223-1692 Mail: shimoda-ayumi@pref.gunma.jp | JICA東京 |
| L-31 | 個別・長期 | ホテルサービス及びホテルマネージメント研修 Hotel Service Training & Hotel Management training | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 接客部門・管理部門において、日本特有のサービスや業務を体験する。その中で、日本の接客についての理解や、日本のホテルで働く上で求められることへの理解を深めるOJT研修を行う。 | 1. 日本語能力初級後半以上 | 横浜グランド インターコンチネンタルホテル | 岸 薫 : 045-222-0701 Fax: 045-223-2312 Mail: kaoru_kishi@intercontinental-hotel.co.jp | JICA横浜 |
| L-32 | 個別・長期 | 貧困削減と人間の福利に果たす生態系サービスの役割 The Role of Ecosystem Services in Poverty Alleviation and Human Well-being | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 生態系と生態系サービスの役割、またそれらが貧困削減、及び人間の福利の向上に及ぼす役割について考察する。生態系の変化及び生態系サービスの衰退に関する最新の動向を理解し、それらの課題に取り組むための政策オプションについて分析する。 | 1. 自然科学、社会科学の分野において環境及び貧困削減、開発問題に取り組んだ学士あるいは修士取得者。 2. 英語での会話及び筆記能力のある者 | 国連総合大学高等研究所 | 河盛 敦子 : 045-222-2300 Fax: 045-222-2302 Mail: kawamori@ias.unu.edu | JICA横浜 |
| L-33 | 個別・長期 | コンピュータシステム開発及びWebサイト構築技術 Training Program for Developing Computer System and Website Programming | 5名 | H21年4月上旬～10ヶ月 | Java/Website Programming(いずれか選択)を用いたコンピュータシステム構築におけるシステム計画/システム設計/プログラム設計/アルゴリズム/プログラミングの技術を学習し、コンピュータシステム開発やWebサイト構築に必要な一連の技術を習得する。 | 1. 高校卒業以上 2. パソコンの基礎知識を有する者 3. 年齢は原則40歳まで 4. 日本語能力初級後半以上 | 学校法人 岩崎学園 | 佐々木 泰弘 : 045-311-5562 Fax: 045-311-5436 Mail: sasaki@iwasaki.ac.jp | JICA横浜 |
| L-34 | 個別・長期 | 森林の減少・劣化による排出削減 (REDD)に関する分析 Analysis of Reduced Emissions from Deforestation and Degradation(REDD) | 2名 | H21年9月～7ヶ月 | 熱帯林保全、熱帯林と温暖化、に関する知識とノウハウを習得する。情報の収集を通じて、熱帯林の保全計画作成、森林伐採や減少からの炭素排出量予測について研修する。熱帯林保全と京都議定書に関する知識やノウハウを習得する。 | 1. 大学卒2年以上の社会経験者 2. 熱帯林保全と温暖化に興味のある者 3. 日本語又は英語能力のある者 4. 帰国後同分野に従事する者 | (財)兵庫国際交流協会 | 事業推進協力部 水島 : 078-230-3263 Fax: 078-230-3280 Mail: mizushima.t@net.hyogo-ip.or.jp | JICA兵庫 |
| L-35 | 個別・長期 | 技術者(自然科学分野、社会科学分野、人材育成等) Nikkei Engineer(The Field of Natural Science, Social Science, etc.) | 8名 | H21年4月～10ヶ月 | 日系技術者の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先及び研修内容を提示し、それに応じた研修計画を作成して各自の希望する技術を習得する。 | 1. 農業実践技術は高卒以上 2. 年齢55歳まで 3. 日本語で研修が可能な者、ただし受け入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax: 045-221-1789 Mail: yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| L-36 | 個別・長期 | 農業リーダー育成のための技術研修 Technical Training on Human Resource Development for Agricultural Leaders | 1名 | H21年6月～10ヶ月 | 農業研究機関等において、作物の安定生産技術、品種・栽培方法、環境に優しい病害虫防除技術、農業機械利用試験等を通じて、日本の農業技術を研修し、次世代の農業リーダーを育成する。 | 1. 農業高校にて農業技術を習得した者 2. 日本語能力初級後半以上 | 京都府 | 国際課推進担当 山口 : 075-414-4313 Fax: 075-414-4314 Mail: h-yamaguchi60@pref.kyoto.lg.jp | JICA大阪 |
| L-37 | 個別・長期 | 日本・中南米の畜産科学と畜産食品の技術交流 Technological Exchanges on animal science and animal food between Japan and Central-South America | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 家畜の繁殖・衛生から保蔵流通、食品加工の近代化について研修を行い、さらに日本の畜産食品市場について理解を深める。 | 1. 大学又は研究機関のバイオサイエンス、畜産学、畜産食品学の知識のある者 2. 日本語能力初級後半以上 | 岡山大学大学院自然科学研究科 | 学務部国際課 山本 優子 : 086-251-7037 Fax: 086-254-6104 Mail: yamamoto-y@adm.okayama-u.ac.jp | JICA中国 |
| L-38 | 個別・長期 | 黒毛和種牛など高品質牛肉の管理と繁殖のための新たなビジョンの習得 New views for production for high quality beef, e.g., Japanese Black | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 黒毛和種牛の先祖である見島牛、無角和種など様々な和牛の生産地である山口県の特徴を活かして、高品質牛肉の生産現場での実習を行う。また、最新の栄養学や生理学の知見に基づき、品質と両立させるべき繁殖管理も円滑に進めための問題要因を抽出・解析する能力を学習し、新しい効率的な飼養管理や繁殖管理等の基礎を習得する。 | 1. 基本的な動物についての知識を身につけている者 | 山口大学農学部獣医学科 | 角川 博哉 : 083-933-5825 Fax: 083-933-5938 Mail: hiroya@yamaguchi-u.ac.jp | JICA中国 |
| L-39 | 個別・長期 | 園芸作物の高品質生産と総合的作物管理 Production of high quality horticultural crops and integrated Crop Management | 3名 | H21年4月～10ヶ月 | 野菜、花卉、果樹等の園芸作物において、高品質生産から環境保全型植物保護、総合的作物管理に関する一連の理論と技術を習得する。(栽培理論、園芸生産技術、育苗繁殖技術、環境保全型植物保護技術、露地および施設での栽培実践等) | 1. 大学あるいは公的機関の研究所で野菜・花卉・果樹の研究に従事又は栽培現場で指導的立場にある者 2. 日本語能力初級後半以上 | 宮崎大学 | 位田 晴久 : 0985-58-7164 Fax: 0985-58-2884 Mail: inden@cc.miyazaki-u.ac.jp | JICA九州 |
| L-40 | 個別・長期 | 持続的養殖学 Sustainable Aquaculture | 2名 | H21年7月～6ヶ月 | 「環境」「魚病」「栄養と飼料」をキーワードとして、養殖環境におけるモニタリング及び浄化技術、魚病診断、環境に優しい養魚飼料の配合設計・開発法・各種養殖対象種の養殖法についての基礎知識を習得する。 | 1. 水産養殖学関連大学卒業生 2. 実務経験3年以上の者 3. 日本語または英語で専門用語を解する40歳以下の者 | 国立大学法人 鹿児島大学水産学部 | 尾崎 誠 : 099-285-7082 Fax: 099-285-7083 Mail: kjigyo@kuas.kagoshima-u.ac.jp | JICA九州 |
| 研究者 | L-41 | 研究者(自然科学分野、社会科学分野、人材育成等) Nikkei Researcher(The Field of Natural Science, Social Science, etc.) | 4名 | H21年4月～10ヶ月 | 日系研究者の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先での研究内容を提示し、それに応じた研究計画を作成して各自の希望する研究を実施する。 | 1. 大学等で研究者として勤務している者 2. 日本語で研修が可能な者、ただし受け入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax: 045-221-1789 Mail: yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| 教育 | L-42 | 実践的小学校教科指導研修 Practical Training Course for Elementary School Education | 3名 | H21年4月～10ヶ月 | 小学校の普通学級においてTT(Team Teaching)方式により実践能力を習得する。 | 1. 日本語能力初級後半程度以上 2. 小学校又は中学校の教員経験を有する。 | 富山県高岡市 | 西村 和人 : 0766-20-1480 Fax: 0766-20-1667 Mail: k-nishimura01@city.takaoka.lg.jp | JICA北陸 |

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|---|--|-------------------|--|--|---|--|--|--------|
| 保健医療 | L-43 | 個別・長期 | 食品・栄養管理 Food and Nutrition Management | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 給食施設のシステム、運営方法(作業の流れ、メニュー作成の基準、施設等の衛生管理、給食に関する法律)を学ぶ。文献による学習の他給食経営管理論実習等に参加し、実践を学ぶ。 | 1. 大学又は類似の高等教育機関で栄養学分野を履修した者 2. 日本語能力中級以上 | 天使大学 看護栄養学部栄養学科 | 久保 則雄 : 011-741-1051 Fax: 011-741-1077 Mail: kubo@tenshi.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-44 | 個別・長期 | 薬学 Pharmaceutical Sciences | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-45 | 個別・長期 | 歯学 Dentistry | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-46 | 個別・長期 | 看護学 Nursing | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-47 | 個別・長期 | 臨床福祉学 Clinical Social Work | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-48 | 個別・長期 | 臨床心理学 Clinical Psychology | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-49 | 個別・長期 | 言語聴覚療法学 Communication Disorders | 1名 | H21年4月～6月から10ヶ月 | 大学院レベル及び学部レベルの講義を聴講し、日本における関連分野の状況及び先端知識を習得する。 | 1. 関連分野の大学卒業者で資格保持者 2. 日本語能力中級以上 | 北海道医療大学 | 辰巳 沙代子 : 0133-23-1129 Fax: 0133-22-1835 Mail: nice@hoku-iryu-u.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-50 | 個別・長期 | 歯科臨床研修 Clinical Training of Dentistry | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 次の専門分野のうち、いずれかにおける高度な歯科技術を習得する。 予防歯科学・歯内療法/歯周病学・冠橋義歯補綴学・歯冠修復学・義歯補綴学・矯正歯科学・小児歯科学・口腔内科学・口腔外科学・歯科放射線学・歯科麻酔学・高齢者歯科学。 | 1. 歯科医師免許を有する者 2. 歯科医師として実務経験を有する者 3. 日本語能力中級以上 | 国立大学法人 北海道大学 歯学部 | 川浪 雅光 : 011-706-4314 Fax: 011-706-4919 Mail: kawanami@den.hokudai.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-51 | 個別・長期 | 作業療法学 Occupational Therapy | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 教育現場において、日本で行われている作業療法の特色とその実際について学ぶ。その内容は次のとおり。 学部授業の聴講、大学院授業の聴講、作業療法現場の見学、作業療法関連学会・技術講習会等への参加、研修員研究課題についての指導・助言等。 | 1. 作業療法士の資格を有する者 2. 実務経験3年以上有する者 3. 日本語能力初級後半以上 4. 専門分野の英語読解力を有する者 | 札幌医科大学 保健医療学部 | 澤田 雄二 : 011-611-2111(ex2882) Fax: 011-611-2155 Mail: yusawada@sapmed.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-52 | 個別・長期 | 理学療法学 Physical Therapy | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 教育現場において、日本で行われている理学療法の特色とその実際について学ぶ。その内容は次のとおり。 学部授業の聴講、大学院授業の聴講、臨床理学療法の見学、理学療法関連学会・技術講習会等への参加、研修員研究課題についての指導・助言等。 | 1. 理学療法士の資格を有する者 2. 実務経験3年以上有する者 3. 日本語能力初級後半以上 4. 専門分野の英語読解力を有する者 | 札幌医科大学 保健医療学部 | 乾 公美 : 011-611-2111(ex2875) Fax: 011-611-2150 Mail: inui@sapmed.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-53 | 個別・長期 | 看護基礎教育における看護技術教育 Nursing Skill Training Program on Nursing Education | 2名 | H21年10月～3.5ヶ月 | 日本の看護技術教育を理解するため、看護援助論、看護技術論及び臨床実習の授業計画準備、および評価の一連の流れについて研修する。(基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、地域看護学他) | 1. 看護教員である者 2. 日本語能力中級以上 | 札幌市立大学 看護学部 | 松浦 和代(中村 恵子) : 011-726-2529 Fax: 011-726-2529 Mail: k.matsuura@scu.ac.jp | JICA札幌 |
| | L-54 | 個別・長期 | 看護の臨床体験型研修 Education and Training of nursing through experiencing actual cases | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | 看護師各自の研修希望内容に沿って研修計画を作成する。 | 1. 看護婦スタッフとして1年以上業務経験のある者 2. 日本語能力中級以上 | 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲病院 | 安藤 真人 : 011-722-1110 Fax: 011-723-5631 Mail: andou@higashi-tokusyukai.or.jp | JICA札幌 |
| | L-55 | 個別・長期 | リハビリテーション(理学・作業・言語など)の臨床体験型研修 Education and training of Rehabilitation through experiencing actual cases | 2名 | H21年4月～10ヶ月 | リハビリテーション(理学・作業・言語など)スタッフ各自の研修希望内容に沿って研修計画を作成する。 | 1. 医師、リハビリテーション・スタッフとして1年以上業務経験のある者 2. 日本語能力中級以上 | 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲病院 | 安藤 真人 : 011-722-1110 Fax: 011-723-5631 Mail: andou@higashi-tokusyukai.or.jp | JICA札幌 |
| | L-56 | 個別・長期 | 介護技術などの療法・福祉・介護の臨床体験型研修 Education and training of nursing care and public welfare through experiencing actual cases | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 介護技術などの療法・福祉・介護スタッフ各自の研修希望内容に沿って研修計画を作成する。 | 1. 介護技術などの療法・福祉・介護スタッフとして1年以上業務経験のある者 2. 日本語能力中級以上 | 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲病院 | 安藤 真人 : 011-722-1110 Fax: 011-723-5631 Mail: andou@higashi-tokusyukai.or.jp | JICA札幌 |
| L-57 | 個別・長期 | 病院事務マネジメントの臨床体験型研修 Education and training of clerical work and hospital management through experiencing actual cases | 1名 | H21年4月～10ヶ月 | 病院事務・経営者各自の研修希望内容に沿って研修計画を作成する。 | 1. 病院事務・経営者として1年以上業務経験のある者 2. 日本語能力中級以上 | 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲病院 | 安藤 真人 : 011-722-1110 Fax: 011-723-5631 Mail: andou@higashi-tokusyukai.or.jp | JICA札幌 | |
| L-58 | 個別・長期 | 食品衛生管理及び栄養管理、調理技術の習得 Food sanitation, nutrition, and cooking skill | 2名 | H21年4月上旬～H22年3月下旬 | 学科(衛生、栄養等)及び調理実習による食物に関する専門技術・知識及び実践的な調理技術を研修する。 | 1. 日本語能力中級以上 | 光塩学園調理製菓専門学校 | 佐藤 弘臣 : 011-221-3355 Fax: 011-231-4334 Mail: senmon2@koen.ac.jp | JICA札幌 | |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|---|----|-----------------------|--|---|--|--|--------|
| L-59 | 個別・長期 | 輸血業務 Transfusion Medicine | 2名 | H21年10月以降 3ヶ月から6ヶ月 | 安全で質の高い輸血医療体制を理解し、輸血用血液製剤の管理企画ができる能力を習得する。血液製剤の供給体制、輸血に際しての検査を実地に体験、特に安全な輸血実施体制について研修する。 | 1.医療機関輸血部門での勤務、輸血行政への関与、血液センターでの勤務、その他輸血に関係する業務のいずれかの経験を有する者 | 横浜市立大学附属病院 | 上條 亜紀 : 045-787-2800 Fax:045-787-2952 Mail:akami-jo-ky@umin.ac.jp | JICA横浜 |
| L-60 | 個別・長期 | 消化器内視鏡の技術習得 Training Program for Digestive endoscopy | 2名 | H21年4月上旬～ 10ヶ月 | 早期癌(大腸・胃)の内視鏡診断と内視鏡治療について、世界のトップレベルの技術、知識を習得する。 | 1.医学部卒 2.経験年数は問わない 3.日本語会話能力を有する者が望ましいが英語でも可 | 昭和大学横浜市北病院 消化器センター | 榎田 博文・石田文生 : 045-949-7265 Fax:045-949-7263 Mail:kashi-md@xf6.so-net.ne.jp fumio182@showa-u.ac.jp | JICA横浜 |
| L-61 | 個別・長期 | 日系医学・歯学研修 Nikkei Medical Doctor and Dentist | 8名 | H21年4月～ 10ヶ月 | 日系医師・歯科医の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先及び研修内容を提示し、それに応じた研修計画を作成し各自の希望する技術を習得する。 | 1.医師・歯科医として1年以上の経験を有する者(55歳以下) 2.日本語で研修が可能な者、ただし受入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1789 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| L-62 | 個別・長期 | 歯科補綴学 Prosthetic Dentistry | 2名 | H21年4月～ 10ヶ月 | 歯科補綴学に関する高度な技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。(臨床見学実習、セミナーや論文抄読会への参加等) | 1.歯科医師免許を取得している者 2.日本語能力初級後半以上 | 国立大学法人 大阪大学 大学院歯学研究科(歯科補綴学第1教室) | 石垣 尚一 : 06-6879-2946 Fax:06-6879-2947 Mail:ishigaki@dent.osaka-u.ac.jp | JICA大阪 |
| L-63 | 個別・長期 | 歯科矯正学 Orthodontics | 1名 | H21年4月～ 10ヶ月 | 高度な内容の臨床見学実習、毎週開催するセミナーや論文抄読会への参加等を通じ、矯正歯科治療に関する高度な技術及び最新の知識を学習する能力を習得する。(エッジワイズ法に関するタイポドント実習、加えて歯周組織再生、顎関節症や筋ジストロフィーなど難治性疾患の病態解明と治療法の開発研究に参加) | 1.歯科医師免許所持者 2.日本語又は英語でのコミュニケーションが可能な者 | 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 顎口腔再建医学講座 口腔顎顔面矯正学分野 | 田中 栄二 : 088-633-7356 Fax:088-633-9138 Mail:etanaka@dent.tokushima-u.ac.jp | JICA四国 |
| L-64 | 個別・長期 | 理学療法学 Physical Therapy | 1名 | H21年6月～ 10ヶ月 | 研修実施機関での診療や各障害領域に関する研修を行うことにより、日本で行われている理学療法(整形系)について、先進技術を含め実務をより深く習得する。 | 1.理学療法士の資格を有する者 2.実務経験を有する者 3.日本語能力1級以上 | 高知県 田中整形外科医院 | 文化・国際課 杉尾 友歌 : 088-823-9605 Fax:088-623-9296 Mail:140201@ken.pref.kochi.lg.jp | JICA四国 |
| L-65 | 個別・長期 | 老年看護と急性期看護 Gerontology nursing and acute care | 1名 | H21年5月～ 6ヶ月 | 老年看護、眼科看護、消化器外科看護、整形外科看護、手術室看護の研修科目の中から1～2分野を選んで研修する。老年看護では脳梗塞・糖尿病など内科疾患、ターミナル期、外科的治療を受ける急性期疾患、認知症、眼科看護では白内障・緑内障・網膜剥離、消化器外科看護では悪性腫瘍、整形外科看護では人工関節手術とリハビリ、手術室看護では手術の介助等の実際を学ぶ。 | 1.看護師資格所有者で実務経験3年以上の者 2.日本語または英語が話せる者 | 医療法人財団 神戸海星病院 | 牧 卓 : 078-882-2742 Fax:078-871-5206 Mail:t-maki@secom.co.jp | JICA兵庫 |
| L-66 | 個別・長期 | 鍼灸学 Acupuncture and Moxibustion | 2名 | H21年4月～ 10ヶ月 | 鍼灸臨床研修及び鍼灸学を学び、さらに鍼灸に関する基礎研究を行う。(大学付属鍼灸治療所にて治療の実際を学習、経穴学、鍼灸基礎実習、関連施設見学実習等) | 1.鍼灸学を習得している者 2.日本語能力初級後半以上、または英語が出来ること | 関西医療大学 | 吉岡 正樹 : 072-453-8251 Fax:072-453-0276 Mail:yoshioka@kansai.ac.jp | JICA大阪 |

<個別(短期)コース>

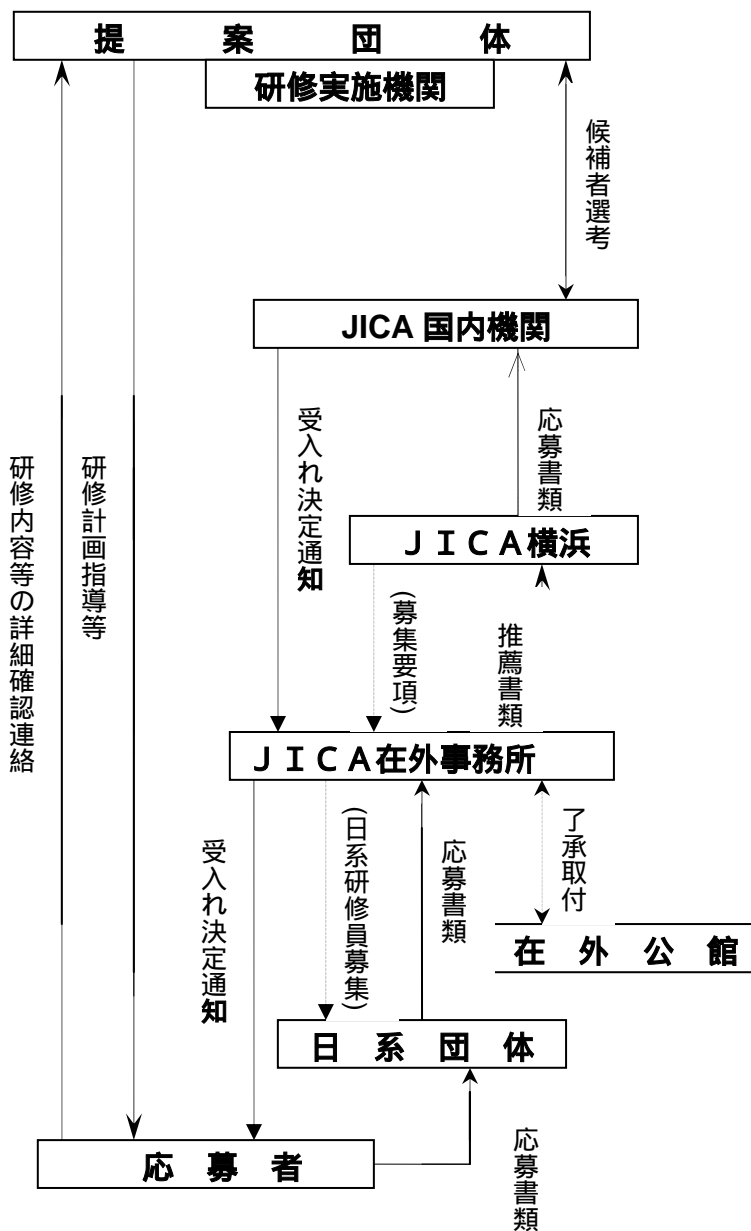
| .技術者 | 案件No. | 提案内容(日系研修員受入) | | | | 提案団体(研修実施機関等) | 連絡先 | 所管センター | | |
|-------|-------|---------------|--|-----|-------------------|---|---|-------------------------------|--|--------|
| | | コース種別 | 人数 | 期間 | | | | | | |
| .技術者 | S-1 | 個別・短期 | 航空宇宙工学における最適経路設計に関する研修 Design of Optimal Trajectories in Aerospace Engineering | 1名 | H21年12月上旬～3ヶ月 | 宇宙工学において、最適経路の設計及び近年では環境に適した騒音や汚染を低減化する問題が重要な課題とされている。本研修は数値計算を主として、最適軌道の設計とそれに追従する制御系の設計及びシミュレーションによる確認という一連の設計手順を実施する。 | 1.航空宇宙工学の誘導制御に関する分野で修士課程終了レベルの知識を有する者、数値計算に精通していることが望ましい。 | 国立大学法人横浜国立大学 環境情報研究院 | 上野 誠也 : 045-339-4242 Fax: 045-339-4242 Mail: s-ueno@ynu.ac.jp | JICA横浜 |
| | S-2 | 個別・短期 | 船舶・海洋工学に関する計測法 Measuring Method concerning to Ships and Ocean Engineering | 1名 | H21年12月上旬～3ヶ月 | 船舶・海洋工学実験等で必要とされる船体や浮体の運動・波浪の計測・解析技術ならびに実海域での波浪や船体運動の計測・解析手法を習得する。 | 1.大学工学部における船舶海洋工学あるいは海岸工学あるいはメカトロニクス工学修了者 | 国立大学法人横浜国立大学 工学研究院 | 平山 次清 : 045-339-4093 Fax: 045-339-4099 Mail: hirayama@ynu.ac.jp | JICA横浜 |
| | S-3 | 個別・短期 | 技術者(自然科学分野、社会科学分野、人材育成等) Nikkei Engineer(The Field of Natural Science, Social Science, etc.) | 10名 | H21年5月上旬以降3ヶ月 | 日系技術者の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先及び研修内容を提示し、それに応じた研修計画を作成して各自の希望する技術を習得する。 | 1.農業実践技術は高卒以上 2.年齢55歳まで 3.日本語で研修が可能な者、ただし受入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax: 045-221-1789 Mail: yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| | S-4 | 個別・短期 | 国際中小ジョイントベンチャー研修 Building managerial capacity of small and medium sized enterprises(SMEs) related to the Japanese descendants for the promotion of international joint-venture formulation with the Japanese SMEs | 4名 | H21年11月～1ヶ月 | 海外展開を模索する日系人社会と日本との経済連携活動の促進に資するため、以下の研修を行う。 1.日本企業の国際展開成功事例の把握と管理手法 2.国際展開を推進している諸団体の活用策 3.中小インキュベーターハウスの役割 4.銀行等のファイナンススキーム 5.F/S評価能力形成のためのCOMFARプログラム研修 | 1.公的機関または商工会議所にて投資、中小企業育成事業に従事 2.金融機関で新規事業開発・審査を担当 3.日本との貿易、投資業務に従事 | 国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所 | 萩原 孝一 相原 正和 : 03-6826-7010 Fax: 03-3288-3300 Mail: khagiwara@unido.or.jp | JICA東京 |
| | S-5 | 個別・短期 | 施設栽培を利用した高品質園芸作物生産 High quality horticultural crop production systems under protected cultivation | 4名 | H21年7月上旬～H21年9月下旬 | 園芸施設の規模に合わせた高品質園芸作物生産技術の習得及び技術指導者を養成する。(次のかまたは両方かを選択する 長期種りトマト栽培技術(Integrated Pest Management総合的病害虫管理) 苗物花卉栽培技術(環境保全型高品質花卉安定生産技術の習得) | 1.日本語能力初級後半以上 | 国立大学法人千葉大学 環境健康フィールド科学センター | 高垣 美智子 : 047-308-8934 Mail: mtgaki@faculty.chiba-u.jp | JICA東京 |
| | S-6 | 個別・短期 | 貿易・マーケティング Trade Marketing | 3名 | H21年6月上旬～2.5ヶ月 | 日本との貿易業務の起業及び現業の拡大のための基礎的な知識の習得を目的に以下の研修を行う。 1.貿易実務のノウハウ、日本市場参入の知識 2.情報の収集、日本の企業経営の特徴、自社業務拡大・改善方法 3.起業のためのプラン作成 | 1.貿易業務に携わっており、日本との貿易を行っていきたく考えている者 2.2年以上の実務経験を有する者 3.日本語能力初級後半以上 | (財)太平洋人材交流センター | 三浦 佳子 : 06-4395-2650 Fax: 06-4395-2640 Mail: miura@prex-hrd.or.jp | JICA兵庫 |
| | S-7 | 個別・短期 | 地域活性化研修 Training Program for Local Activation | 5名 | H21年8月中旬～H21年8月下旬 | 地域の産業開発に係る歴史・経験・ノウハウおよび日系農協組合、日系企業の能力強化に資する技術・知識・最新情報を習得する。(産業開発・管理技術、中小企業経営、一村一品運動、地場産業・地域活性化、創造的思考法) | 1.日系団体・NPO・NGO団体の幹部または中小企業経営者・幹部 2.日本語で受講可能な者 | (財)北九州国際技術協力協会 | 松本 健三 : 093-662-7172 Fax: 093-662-7177 Mail: matsumoto@kita.or.jp | JICA九州 |
| .研究者 | S-8 | 個別・短期 | 研究者(自然科学分野、社会科学分野、人材育成等) Nikkei Researcher(The Field of Natural Science, Social Science, etc.) | 10名 | H21年5月上旬以降3ヶ月 | 日系研究者の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先での研究内容を提示し、それに応じた研究計画を作成して各自の希望する研究を実施する。 | 1.大学等で研究者として勤務している者(55歳以下) 2.日本語で研修が可能な者、ただし受入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax: 045-221-1789 Mail: yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| .教育 | S-9 | 個別・短期 | スペイン語またはポルトガル語を母語とする学習者に対する日本語教育個別テーマ研究 Individualized Research on a Specific Theme of Japanese Language Education for Spanish-Native or Portuguese-Native Learners | 2名 | H21年5月上旬～3ヶ月 | 現地の日本語教師を指導できる中心的な人材育成を目的とし、教師が抱える対照言語学あるいは日本語教育の個別テーマの研究を行う。(テーマは対照言語学的な文法に関する問題、あるいは文法指導に関する問題に絞る) | 1.日系子弟のための日本語学校に勤務する日本語教師(10年以上) 2.所属機関等の中核的人物であり継承日本語教師の養成に携わる者または将来計画している者(公的な推薦書添付が望ましい) 3.日本語能力中級以上 4.パソコンの基本操作が出来る者 | 国立大学法人金沢大学 留学生センター | 太田 亨 : 076-264-5807 Fax: 076-234-4043 Mail: akirao@kenroku.kanazawa-u.ac.jp | JICA北陸 |
| | S-10 | 個別・短期 | 保育 Childcare | 2名 | H21年6月上旬以降2ヶ月 | 保育行政、子育て支援センター業務、乳児保育、延長保育、一時保育、学童保育、障害児保育等の状況について、講義や実習を通して、実際の保育現場で実践できる生きた保育法を習得するとともに、多様化した社会に対応する様々な保育サービス全般について理解する。 | 1.保育士資格を有する者 又は幼児教育に携わっている者 2.日本語能力初級後半以上 | 八代市 | 白川 健次 : 0965-34-1090 Fax: 0965-32-8944 Mail: ken-syx@city.yatsushiro.lg.jp | JICA九州 |
| .保健医療 | S-11 | 個別・短期 | 急性期病院における高性能機器による診断技術と最先端治療手技 The latest diagnostic modality and treatment procedures using the most advanced equipments in emergency-care hospital | 3名 | H21年4月～3ヶ月 | 循環器の高性能機器による診断技術とPCI手技、消化器の診断技術と内視鏡による治療及び救急救命センターのシステムについて研修する。 | 1.病院または診療所の医師として1年以上の勤務経験者 2.日本語能力2級以上又は英語で専門用語が十分理解できる者 | 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲病院 | 斉藤 滋 : 011-722-1110 Fax: 011-722-5631 Mail: transradial@kamakuraheart.org | JICA札幌 |
| | S-12 | 個別・短期 | 高齢者福祉 Senior citizen welfare | 1名 | H21年8月下旬～3ヶ月 | 介護保険制度を中心に、日本の高齢者福祉制度とサービス内容・今後の課題等を把握し、施設サービス、在宅サービス全セクションで実習し、知識と技術を習得する。 | 1.現在高齢者福祉の職務に携わっている者または希望している者 2.福祉関係専門用語を理解し会話可能な日本語能力を有する者 | 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム | 大澤 ゆき : 042-527-0035 Fax: 042-527-2646 Mail: shisei-home@shisei.or.jp | JICA東京 |
| | S-13 | 個別・短期 | 日系医学・歯学研修 Training for Nikkei Medical Doctor and Dentist | 10名 | H21年5月上旬以降3ヶ月 | 日系医師・歯科医の育成を目的に、各自の専門に合わせた研修を行う。応募者はあらかじめ研修希望先及び研修内容を提示し、それに応じた研修計画を作成し各自の希望する技術を習得する。 | 1.医師・歯科医として1年以上の経験を有する者(55歳以下) 2.日本語で研修が可能な者、ただし受入れ先が英語で研修が可能な場合は英語でも良い。 | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax: 045-221-1789 Mail: yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |

| | | | | | | | | | | |
|--------|------|-------|--|----|---------------------|--|--|---|--|--------|
| | S-14 | 個別・短期 | 鍼灸学 Acupuncture and Moxibustion | 2名 | H21年10月上旬～ 3ヶ月 | 経絡治療、トリガーポイント治療、赤羽法(AKABANE)、良導絡(RYODORAKU)、特殊鍼法(耳鍼、頭皮鍼、髪際鍼、手背鍼等)を習得する。 | 1.医療系の大学を卒業した者 2.医療系(鍼灸を含む)資格を有する者 3.日本語能力中級以上、または英語が出来ること | 関西医療大学 | 吉岡 正樹 : 072-453-8251 Fax:072-453-0276 Mail:yoshioka@kansai.ac.jp | JICA大阪 |
| | S-15 | 個別・短期 | 消化器内視鏡の技術習得 Training Program for Digestive endoscopy | 4名 | H21年度中対応 | 早期癌(大腸・胃)の内視鏡診断と内視鏡治療について、世界のトップレベルの技術、知識を習得する。(年間を通じ3ヶ月間を上限に受け入れる) | 1.医学部卒 2.経験年数は問わない 3.日本語会話能力を有する者が望ましいが英語でも可 | 昭和大学横浜市北病院 消化器センター | 櫻田 博文・石田文生 : 045-949-7265 Fax:045-949-7263 Mail:kashi-md@xf6. so-net.ne.jp fumio182@med.showa-u. ac.jp | JICA横浜 |
| | S-16 | 個別・短期 | 社会福祉(障害福祉) Social Welfare(Disability Welfare) | 6名 | H21年4月以降 1ヶ月、3ヶ月 | 重症心身障害者に対するケア全般について習得する。 (1)食事・入浴・排泄・移動などの身辺介護 (2)日本の福祉の現状 (3)重症心身障害者に関する制度・法律 (年間を通じ、1ヶ月間研修3名、3ヶ月間研修3名を随時受け入れる) | 1.障害者(児)に携わる職業の実務経験2年以上を有する者 | NPO法人 WING-路をはこぶ | 大槻 端文、柳下とも代 : 06-6656-1280 Fax:06-6656-1280 Mail:info@yourwing.org | JICA大阪 |
| | S-17 | 個別・短期 | 社会福祉(障害福祉) Social Welfare(Welfare of handicapped persons) | 3名 | H21年4月～ 3ヶ月 | 障害者に対する地域生活支援を中心とした社会福祉全般・日本の障害者福祉の歴史と現状を学ぶ。 (受入れの内訳は、H21年4月～の研修は2名、10月～の研修は1名とする) | 1.業務経験は問わないが社会福祉分野で働く意欲のある者 2.大学卒業程度の学力のある者 3.日本語能力初級後半以上 | 社会福祉法人 そうそうの杜 | 荒川 輝男 : 06-6965-7171 Fax:06-6167-2622 Mail:sousou_arakawa@yahoo. co.jp | JICA大阪 |
| | S-18 | 個別・短期 | 理学療法(作業療法)による機能回復訓練 Rehabilitation Training with Physical Therapy (operational therapy) | 1名 | H21年10月中旬～ 2ヶ月 | 成人(又は小児)に対する理学療法(作業療法)による機能回復訓練の現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、疾患別アプローチについて学び、リハビリ訓練の手法を習得する。 | 1.理学療法士又は作業療法士の資格・経験のある者 2.日本語で研修可能 | (財)ひろしま国際センター 広島県立身体障害者リハビリテーションセンター | 岡野 拓 : 082-421-5900 Fax:082-421-5751 Mail:hicc22@hiroshima-ic. or.jp | JICA中国 |
| . 研究交流 | E-1 | 個別・短期 | 研究交流(自然科学分野、社会科学分野、人材育成等) Exchange for Nikkei Researcher(The Field of Natural Science, Social Science, etc.) | 5名 | H21年5月上旬 以降1ヶ月 | 現地の大学教授が日本の同分野で研究している教授と研究の交流を行い、研究の相互発展と本研修を契機とし、相互交流を目的としている。研究内容は応募者があらかじめ交流を望む研究分野、教授を指定する。 | 1.現在、教育・研究機関等で研究者として10年以上の経験を有する者 2.研究交流に必要な言語能力を有する者(年齢は60歳未満) | (財)海外日系人協会 | 吉村 純 土方 陽美 : 045-221-1783 Fax:045-221-1789 Mail:yoshimura@jadesas.or.jp hijikata@jadesas.or.jp | JICA横浜 |
| | E-2 | 個別・短期 | 高度病原性真菌による中南米の風土病パラコクシジオイデス症の研究 Research on paracoccidioidomycosis endemic in Latin American countries caused by a highly pathogenic fungi; Paracoccidioides brasiliensis | 1名 | H21年5月中旬～ 1ヶ月 | 原因菌Paracoccidioides brasiliensis及び多遺伝子解析に基づく分子系統学的再解析と各種抗真菌薬に対する感受性の判定法及び鑑別診断に必要な日和見真菌症対策の研究について討論する。 | 1.大学の教員 2.本件研究について日本との研究実績がある者 3.日常会話が可能なる者 | 国立大学法人千葉大学 真菌医学研究センター | 宇野 潤 : 043-226-2794 Fax:043-226-2486 Mail:unojun@faculty.chiba-u. jp | JICA東京 |

[参考資料]

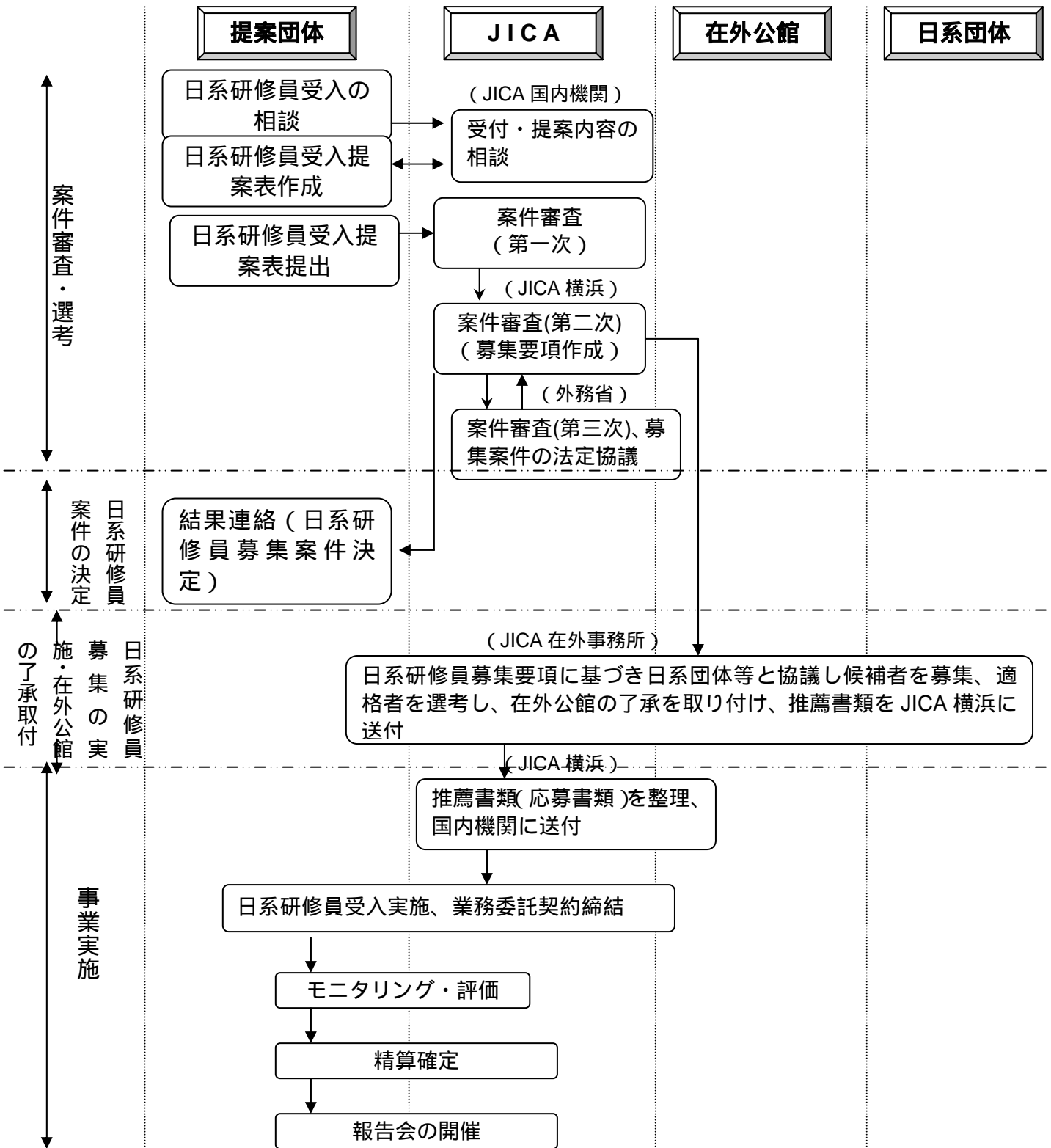
[参考資料]

1. 個別型日系研修員応募にかかるフローチャート



[参考資料]

2 . 日系研修員事業の業務フロー



〔参考資料〕

3. 継承日本語教師研修 フローチャート

| | | 日本語能力 | | | | | | | | | |
|-----------|----|---|----|---|----|--|------|---|--|---|--|
| | | 3級 | 2級 | | 1級 | | | | | | |
| | | 初級 | 中級 | | 上級 | | | | | | |
| 日本語教師経験年数 | 7年 | | | 基礎 | | 専門 | 講師養成 | | | | |
| | 5年 | | | | | | | | | | |
| | 3年 | 基礎 | | | 速成 | | | | | | |
| | 1年 | | | | | | | | | | |
| | 1年 | | | | | | | | | | |
| 目 標 | | 【基礎】 * 新人教師に求められる継承日本語教育に必要な言語教育の基礎理論、文化的活動を行うための基礎的指導技術、日本語教授法の基礎を習得する。 * 子ども日本語教室での実習を通して初級前半クラスの指導法を実践し応用力を身につける。 | | 【基礎】 * 中堅教師に求められる継承日本語教育に必要な言語教育理論、文化的活動を行うための指導技術、日本語教授法（初級後半）を習得する。 * 子ども日本語教室での実習及び見学などを通してクラス運営の方法を習得する。 | | 【速成】 * 新人教師に求められる継承日本語教育に必要な教育理論、文化的活動を行う指導技術、日本語教授法（初級全般）を習得する。 * 日本語力と社会経験を生かして保護者・地域との連携をはかり、学校運営に協力できる実践力を習得する。 | | 【専門】 * 年少者を対象とする日本語教育における視聴覚教材の効果的活用が出来る指導技術および、後進の指導を行う技術を習得する。 【専門】 * 年少者を対象とする日本語教育における中上級レベルの指導技術および後進の指導を行う技術を習得する。 | | 【講師養成】 * 継承日本語教育を主目的とする日本語学校の教師を育成するため、講師としての指導技術と知識を習得する。 * 中南米における継承日本語教育の実践、日本語指導全般についての専門的知識、後進教師への教授法指導に必要な内容を習得する。 | |

[付属書類]

応募書類 -

推 薦 書

理事長 殿

申請者氏名(和文): _____

生年月日 : _____ 年 月 日生(満 歳)

研修科目 : _____

優先順位 : _____ 位(人募集中)

上記の者は、面談の結果、日系研修員事業の趣旨に照らして適格と認めますので、必要書類を添えて推薦します。

1. 候補者の適応性

(1) 協調性、順応性

| | 有 | | 普通 | | なし | 事務所コメント |
|-------|---|--|----|--|----|---------|
| 協 調 性 | | | | | | |
| 順 応 性 | | | | | | |

(2) 性 格

| | 有 | | 普通 | | なし | 事務所コメント |
|-------|---|--|----|--|----|---------|
| 積 極 性 | | | | | | |
| 明 朗 さ | | | | | | |
| 真面目さ | | | | | | |

2. 候補者の日本語能力(面談を通じての事務所の判断)

(1) 日本語能力

| | 日本語 で 研修可 能 | | 日常会 話程度 | | 支障有 | 事務所コメント |
|-------|----------------------|--|------------|--|-----|---------|
| 聴 く 力 | | | | | | |
| 話 す 力 | | | | | | |

(2) 日本語補完研修(集団研修コースと短期研修コースは記入不要)

| | 必要 なし | 必要 あり | 事務所コメント |
|--------|----------|----------|---------|
| 本人の希望 | | | |
| 事務所の判断 | | | |

3. その他

(1) 研修希望先(提案団体)について(個別研修のみ)

| 希望研修機関名 | 優先 順位 | コンタクト状況 | | | 研修計画書にかかる 事務所コメント |
|---------|----------|---------|---|----|----------------------|
| | | 済 | 中 | なし | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(2) 本邦選考時の留意事項

4. 事務所が推薦する理由、その他コメント

年 月 日

事務所長

印

研 修 申 請 書

年 月 日

独立行政法人国際協力機構 理事長 殿

私は、貴機構が実施する日系研修員事業に応募を希望しますので、関係書類を添えて申請いたします。

1. 氏 名 _____ 署 名

2. 住 所

E-mailアドレス：
(日本語メール受信 可 ・ 不可)

3. 研修希望コース

4. 研修希望内容(研修実施計画書の概要)

5. 研修を希望する理由

6. 提案団体

団体名：

提案団体とのコンタクト： 済 ・ 未済 (該当欄を で囲んでください)

提案団体とのコンタクト方法： Fax ・ Tel ・ 手紙 ・ E-mail ・ その他 ()

提案団体の対応者名：

注) 研修計画書を作成した際、技術的な指導を受けた研修実施機関があった場合は

研修実施機関名：

研修計画書作成指導者名：

電話番号又はE-mailアドレス：

7. 研修希望時期および期間（集団コースは記入不要）

個別長期研修コース 4月・10月から _____ヶ月

注）日本語集中講習の受講者（4月来日者のみ）は、最
長10ヶ月になる。

個別短期研修コース 200__年__月頃から _____ヶ月

注）提案団体の都合により変更になることがある。

8. 現在の技術レベル（経験年数：_____年）

9. 研修に期待する技術達成目標

注）研修計画書に基づき概要を記入

10. 研修修了後の計画

添付書類（添付する書類の番号に 印を付す）

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1. 履歴書 | 1部 |
| 2. 身上書 | 1部 |
| 3. 健康診断書 | 1部・後日提出 |
| 4. 誓約書 | 1部 |
| 5. 最終学校卒業証明書（写）または卒業証書（写） | 1部 |
| 6. 研修計画書 | 1部 |
| 7. カントリーレポート | 1部 |
| 8. 日本語能力試験____級認定書（写） | 1部 |
| 9. 写 真 | 6枚 |
| 10. 日本語教師研修員推薦書（日本語教師研修コースのみ | 1部 |
| 11. その他（ _____ ） | 部 |

以 上

President,
Japan International
Cooperation Agency

APPLICATION FOR TRAINING

Based on the attached papers, I hereby apply for the "Training Program for Japanese Descendants

Name:

Address:

E-mail:

Training course (Desired):

Training period (Desired): _____ to _____
MONTH DAY YEAR MONTH DAY YEAR

Name of Organization:

Department:

tel:

Address:

E-mail

Correspondence (for contact):

Name of Contact Person:

tel:

Reason to hope for training:

Quality of Training (Outline of Training object and plan in Japan):

Present technological level:

Years of experience: (_____ years)

Goal of the training (Outline of Training object and plan in Japan):

Professional Plan and after Training:

Signature: _____,

MONTH DAY YEAR

研修計画書

TRAINING OBJECTIVES AND PLAN IN JAPAN

研修内容・達成目標(期待される「成果」、「指標」、「活動」など) The quality and goal of the Training
研修テーマ・内容 Quality

達成目標 Goal

研修の指標 Indices

(1)

(2)

(3)

得られる成果 A fruit

(1)

(2)

(3)

活動計画等 Activities etc

署名
Signature

カントリーレポート Country report

1 . 基本情報 (Introduction)

- (1) 所属先概要(活動内容、スタッフ人数、施設、機材、予算等
Organization to which you belong(main function, number of staff, main facilities and equipment, budget, etc)

(2) 所属先でのあなたの役割と活動

Detail explanation of your present job

- 2 . 本コースの分野であなたの所属先又は地域、国が抱えている問題点
Problems and constraints you are actually facing (in your organization,site,country)

3 . 上記2の問題解決に向けたあなたのアイデア

Describe a project idea to solve or alleviate the the problems /constraints above

4 . 添付物 (写真、地図、関連資料等)

Attached(Photos, Map, Relevant documents, etc)

(用紙が不足する場合は適宜追加してください)

(continue on an additional sheet if necessary)

CURRICULUM VITAE

履 歴 書

(FOR JAPANESE OFFICIAL USE)

Group Course (集団コース名)

Individual Course (個別コース名)

PART A (To be completed by the nominee.)

| | | | |
|--|-------------------------|-----------|--------------|
| 1 FULL NAME(as in Passport , underline Family Name) 氏名(欧文) | | | |
| 2 ADDRESS FOR CORRESPONDENCE 住所 Telephone: | 4 DATE OF BIRTH 生年月日 | | 5 AGE 年齢 |
| | Month 月 | Date 日 | Year 年 |
| 3 NAME AND ADDRESS OF PERSON TO BE NOTIFIED IN CASE OF EMERGENCY 緊急の連絡先 Relationship to you: 本人との関係 Telephone: | 6 SEX 性別 | | MALE 男性 |
| | 7 MARITAL STATUS 未婚 | | FEMALE 女性 |
| | 8 NATIONALITY 国籍 | | |
| | 9 RELIGION 宗教 | | |

10 EDUCATIONAL RECORD
 学 歴

| Institution 学 校 名 | City / Country 市 / 国 | Years Attended | | Qualification Obtained | Subject 専 攻 |
|----------------------|-------------------------|----------------|----|---------------------------|----------------|
| | | From | To | | |
| | | | | | |

11 RECORD OF TRAINING OR STUDY IN JAPAN (in relation to professional interests)
 本 邦 研 修 歴

| Institution 研修機関 | City 市 | Period 期 間 | | Certificate/ Degree Awarded | Field of Study 研修分野 |
|---------------------|-----------|---------------|----|-----------------------------------|------------------------|
| | | From | To | | |
| | | | | | |

EMPLOYMENT RECORD

職歴

Years of experience in training field

研修分野の経験年数 _____ 年 Years

1) Present organization

現在の職業

| | |
|--------------------|--|
| Name 会社名 | Present position 役職 _____ |
| | Date of Taking Up Post 現在の役職についた年月 ____年__月~ |
| Address 住所 | Type of Organization 職業 |
| | Governmental / Public 公務員 Private 民間 International 外資系 Others その他 |
| Telephone: Fax: | |

2) Previous Job

前職

| | |
|--|---|
| Name and Address of Organization 会社名・住所 | Description of Your Previous work 仕事内容 |
| Previous Title / Post and Dated (from / to) 役職 | |

3) Describe briefly the work of your organization and the service it provides

勤務先の業務内容を詳細に記入して下さい。

.....

4) Describe your work

あなたの仕事内容を記入して下さい。

.....

.....

.....

.....

様式第4号 FORM

身上書 PERSONAL DATA

PHOTO
写真

3.5 x 4.5

Name:

LANGUAGE PROFICIENCY

Please, place an "X" at the level corresponding to your grade of Japanese proficiency Test or equivalent

| | | | | |
|------------------------|------------------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|
| JAPANESE 日本語 | GRADE 2 UP 1級以上 2級 | GRADE 3 3級 | GRADE 4 4級 | NOT AT ALL できない |
| ENGLISH 英語 | EXCELLENT よくできる | GOOD できる | POOR 少しできる | NOT AT ALL できない |

JAPANESE LANGUAGE EDUCATIONAL RECORD

日本語学習歴

| Name of School 学校名 | Age 年齢 | Years Attended | |
|-----------------------|-----------|----------------|----|
| | | from | to |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

FAMILY MEMBERS 家族状況

| Name 氏名 | Age 年齢 | Relation 本人との続柄 | Occupation 職業 |
|------------|-----------|--------------------|------------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

RELATIVES AND FRIENDS IN JAPAN 在日の親戚・友人

| | |
|-------------------------|------------------|
| Name: 氏名 | |
| Relationship: 本人との関係 | Occupation 職業 |
| Address: 住所 | |

健康診断書

受診日 年 月 日

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 氏名 | (男・女) (未婚・既婚) | 生年 月日 | 年 月 日(歳) |
| 住所 | | | |
| 身体計測 | 身長 _____ cm | 尿検査 | 糖 (_____) |
| | 体重 _____ kg | | 蛋白 (_____) |
| 感覚器系 | 視力 右 (_____._____) 左 (_____._____) 色神 異常なし・あり 聴力 異常なし・あり | 血液検査 | 血沈 1時間値 _____ mm 2時間値 _____ mm G O T _____ 単位 G P T _____ 単位 梅毒血清反応(_____) |
| | 呼吸器系 | | 理学的所見 異常なし・あり 胸部X線直接撮影 肺の異常所見 なし・あり |
| フィルムNo. | | その他必要 性を認 めて実 施し た検 査 結 果 | |
| 循環器系 | | 理学的所見 異常なし・あり (心雑音 なし・あり) 血圧 (mmHg) (最高) _____ / _____ (最低) 胸部XP心陰影(上図参照) 異常所見 なし・疑い・あり | 既往歴 |
| | | 総合所見 | |
| 上記のとおり診断します。 | | | 年 月 日 |
| 所 属：_____ | | | |
| 医師氏名：_____ | | 署 名：_____ | |

誓 約 書
P L E D G E

独立行政法人国際協力機構 理事長 殿
President,
Japan International Cooperation Agency

私は、貴国際協力機構の日系研修（ _____ コース）の研修員に選ばれたならば、下記事項を遵守し、研修に精進することを誓います。

I, _____ Course
a participant in the Training Program for Japanese Descendants by JICA hereby pledge;

1. 日本国の法令及び研修機関の諸規則を遵守し、善良な社会人として行動すること。
to abide by Japanese Law and the rules of the institution where I undergo training and to remain in Japan as a bona fide JICA participant;
2. 貴国際協力機構の指示や決定に忠実に従うこと。
to execute the training/research plan and abide by local institutional rules and conditions as may be stipulated by its introductory report on this Training Program;
3. 故意または重大な過失により責務を負った際は、自己の責任において弁済すること。
to compensate JICA for any damage I may cause either intentionally or by negligence;
4. 次の事項の一に該当すると認められ、研修の停止を命ぜられた場合は、その命に従い自費で帰国すること。
(1) 故意又は重大な過失及び怠慢などの事由により、研修の継続が不可能となったとき。
(2) 自らの都合により研修を中断したとき。
(3) 社会の秩序を乱す行動をしたとき。
(4) 申請書類の記載事項に虚偽が発見されたとき。
to refund to JICA the entire allowance paid to me when I discontinue my training/research plan without JICA's authorization or when JICA orders me to stop the program due to disobedience or other reasons;
5. 所定の研修終了後は速やかに帰国し、修得した知識や技術を活用して、地域社会の発展に積極的に貢献すること。
to return to my country as soon as the training /research period ends and to apply the techniques and knowledge acquired in Japan to the social, technical or scientific development in my country.

年 月 日
year month day

申請者氏名 _____
Name

_____ 署名
Signature